

(案)

北区「はっぴー・すまいる」ビジョン

「たのしい」で つながる北区

「たのしい」が生み出す、
「はっぴー」と「すまいる」



令和8(2026)年 月 堺市北区役所

もくじ

I 策定の趣旨
社会情勢

II 概要、魅力、特性と課題

III 将来像

IV さくせん

V 基本方針

VI 実施体制

付属資料

I

P1

このビジョンについて (策定の趣旨、社会情勢)

II

P3

北区ってこんなところ (北区の概要、魅力、特性と課題)

III

P13

将来像のイメージ図
みんなで描くこれからの北区 (将来像)

IV

P17

みんなで取り組む3つのさくせん

V

P21

みんなで進める4つの「はっぴー・すまいる」 (基本方針)

VI

P31

実施体制

付属資料

資料1 北区政策会議構成員名簿

資料2 北区政策会議開催経過及び意見募集実施経過

資料3 北区に関する統計データ等

このビジョンについて

1 本ビジョンの位置づけ

- 堺市の計画である「次期基本計画」(令和8(2026)年3月策定)を上位計画としています。当該計画の「計画の推進」の考え方などから「魅力ある地域の共創を実現する基盤の強化」を本ビジョンにおける重要な視点とし、将来像の実現をめざします。
- 本ビジョンは北区の特性を生かしながら、区民みんなの力がゆるやかにつながることで区民協働による地域共創を推進し、将来像を実現するための指針です。

2 策定の趣旨

- 令和3(2021)年3月に策定しました「北区みんなのまちビジョン」では、「すべての人が住みたくなる街、ずっと永く住み続けたい街」を基本的な考え方とし、北区における特性や課題を踏まえ、快適で住みよい北区をめざし、区民協働による地域共創に向けた様々な取組を実施してきました。
- これまでの取組により地域共創が少しずつ進んでいますが、更なる課題の解決や新たな価値の創造に向けて、多様な視点や連携も取り入れながら引き続き取り組む必要があります。
- そこで、本ビジョンでは、これまでの基本的な考え方を引き継ぎ、「みんなが住みたい・住み続けたい北区」を基本理念とします。
- このような北区の実現のためには、日頃の生活の中で感じていることから、何が大切で何ができるかについて区民が主体となって話し合い、課題解決のための活動などを通じて区民同士が相互につながり、区民それぞれが「たのしい」と前向きに感じることを増やし、将来への「希望」を持ち「幸せ」を実感・共感できることが大切です。
- また、区役所は、様々な立場の人々の課題に真摯に向き合い、寄り添い、みんなが安心できる環境をつくることが重要です。
- これらの考え方に基づき、北区を取り巻く社会情勢を踏まえ、次の時代を切り拓くための北区の将来像を示します。あわせて、区民の意見などから、北区の特性や課題を整理し、地域共創を更に推進するための取組を分かりやすく説明します。
- それらの取組を着実に実施することで、「みんなが住みたい・住み続けたい北区」をめざします。

3 構成及び計画期間

- 「策定の趣旨」「将来像」「さくせん」「はっぴー・すまいる（基本方針）」「実施体制」を基本的な構成としています。
- 5年間（令和8（2026）年4月から令和13（2031）年3月）を計画期間としています。

4 北区を取り巻く社会情勢

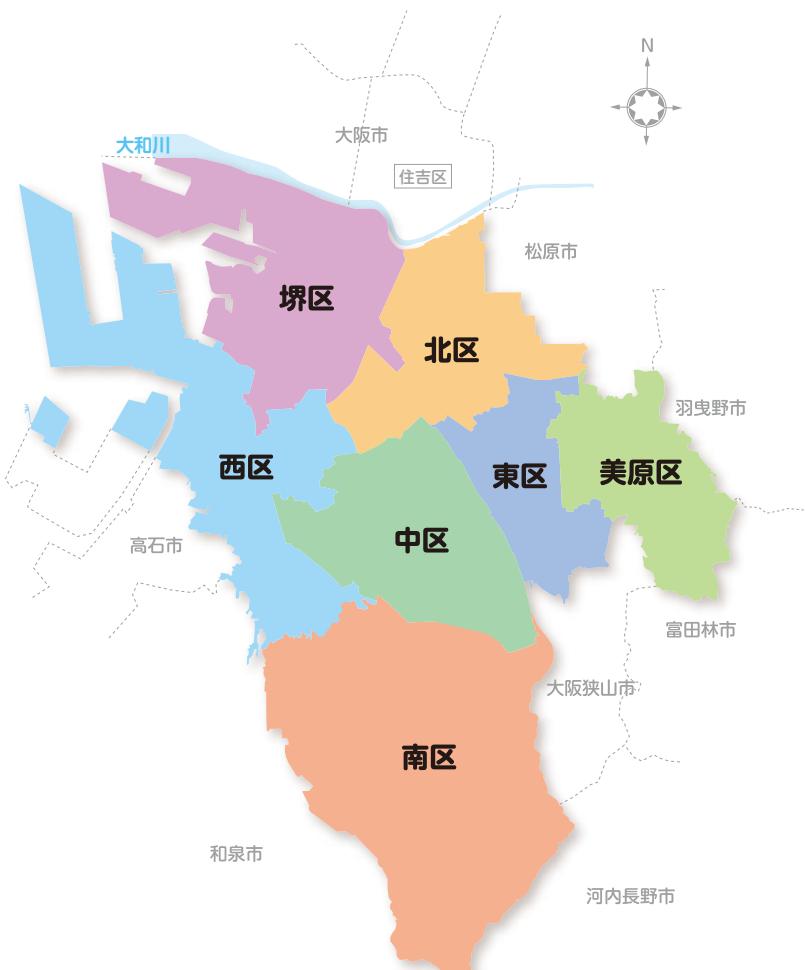
- 人口減少・高齢化の進行による、市場規模の縮小や現役世代の負担増加などに加えて、食料品やエネルギー価格の上昇などの物価高騰により、社会経済の構造が急激に変化しています。
- 令和6年能登半島地震をはじめとした大地震や記録的な集中豪雨などによる大規模な風水害が日本全国で多発しています。今後、南海トラフ地震や上町断層帯地震などの大規模地震、地球温暖化の影響などによるこれまでの想定をはるかに超える自然災害が発生する恐れがあることから、自助・共助・公助の観点から適切な災害対策を進める必要があります。また、防犯面では特殊詐欺被害が増加しており、特に高齢者の方が狙われる場合も多く、警察と連携した治安の対策が必要です。
- 社会経済環境の変化を背景に人々の価値観やライフスタイルが大きく変化し、住民ニーズも多様化しています。お互いの多様性を認め合い、様々な変化に柔軟に対応しながら安心して暮らすことができる社会の実現をめざすことが重要です。
- 地域社会のコミュニティ意識の低下により、地域のつながりが希薄化しており、地域が抱える課題に十分な対応をとることが困難になっています。課題解決に向けた体制構築や担い手の育成に地域の多様な主体が連携することが必要です。
- AI（人工知能）など、デジタル技術は急速に進化しています。SNSも身近なコミュニケーションツールとして定着しており、新しい発見や多様な交流を生み出すために更なる活用が見込まれています。また、デジタル・ディバイド（情報格差）解消に向けた取組も求められています。

北区ってこんなところ

1 北区の概要

1 位置と地勢

- 北区は堺市の北東部に位置し、面積は約 15.60 km²で堺市の約 10.4%を占めています。
- また、大和川を隔てて大阪市住吉区、東は松原市と隣接しています。
- 南からゆるやかな丘陵地となっていますが、区域の大部分は平坦地形です。西除川、狭間川、光竜寺川などが北の大和川に向かって流れ、百舌鳥川が西の百済川に合流しています。
- 区域には住宅市街地が多く、新金岡地区などにおいて一時期に供給された多くの公的賃貸住宅が更新時期を迎えていました。
- 大阪メトロ御堂筋線が区域中心部を南北に、南海高野線が西から南東に、また、堺区との境界にはJR阪和線が走っています。
- 主要な道路は、東西方向に大阪中央環状線が、南北方向に大阪高石線(常磐浜寺線)が通っており、大和川沿いには阪神高速6号大和川線が整備されています。
- 区内には、計画的に整備された大泉緑地、金岡公園といった大規模な公園があります。また、東南部には農地やため池が点在しています。
- 中百舌鳥駅周辺には、ビジネスをサポートする堺市産業振興センターやさかい新事業創造センター(S-Cube)、堺商工会議所、堺で働くための総合支援拠点であるさかいJOBステーション、高度な教育と研究を行う大阪公立大学中百舌鳥キャンパスなどが立地しています。



〈位置と地勢について〉



- 中百舌鳥駅周辺では、駅前広場の再編などをはじめ、駅周辺エリアの活性化の方向性を示す「中百舌鳥駅周辺活性化基本方針」を策定し、エリア全体の魅力と価値の向上をめざしています。
- 新金岡地区では、公的賃貸住宅の集約建替えにより生じた活用地利用を推進して、魅力的な都市空間の形成をめざしています。
- 南海高野線白鷺駅北側地域などを対象とした金岡地区での市街地整備事業が検討されています。また、対象地区付近を通過する都市計画道路南花田鳳西町線の開通に向けた取組が進められています。

2 歴史・資源

A 御廟山古墳 B いたすけ古墳 C ニサンザイ古墳

堺市周辺に人が定住し始めたのは旧石器時代の頃とされており、南花田遺跡からは旧石器時代の石器が発掘されています。5世紀に築造された古墳が北区内に残され、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の主要な構成資産となっています。

D 竹内街道 E 西高野街道 F 長尾街道

日本遺産である日本最古の官道「竹内街道」は、飛鳥時代には遣隋使や留学僧が往来し、中世以降は堺と大和を結ぶ交通の要衝として栄え、江戸時代を通じて人やモノの往来が盛んでした。街道沿いには金岡神社など多くの名所旧跡が点在しています。

G 高林家住宅 H 筒井家住宅

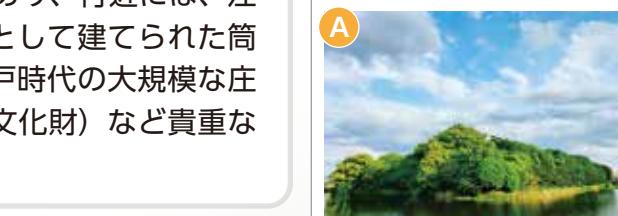
百舌鳥古墳群の東側には、5世紀後半に築造された帆立貝形の前方後円墳である御廟表塚古墳があり、付近には、江戸時代初期の新田「夕雲開」の管理所として建てられた筒井家住宅（国の登録有形文化財）や江戸時代の大規模な庄屋敷の構えを残す高林家住宅（重要文化財）など貴重な住宅が残っています。

I 百舌鳥八幡宮

社殿前には樹齢約800年の楠の巨木があり、大阪府の天然記念物に指定されています。中秋の名月にあたる旧暦8月15日にかけて催される「月見祭」は300年以上の伝統があり、勇壮華麗なふとん太鼓を奉納することで有名です。

J 金岡神社

8月14日、15日に豊作や町内安全を祈願し、祖先の靈を慰める風習から盆踊りが行われています。各町が繰り出す11基の大太鼓が町内を練り歩き、境内に揃うことで盆踊りが開始される伝統ある行事です。



御廟山古墳



百舌鳥八幡宮



高林家住宅



ニサンザイ古墳



大阪市住吉区



K 大和川リバーサイドサイクルライン

北区北部を流れる一級河川の大和川沿川には、令和7(2025)年に、自然や景観を楽しみながら自転車と歩行者が安全で快適に通行できる道路が整備され、豊かな水辺空間が提供されています。

L 愛染院

戦国時代の堺の豪商今井宗久が治めた地である五箇荘には、長尾街道沿いに奈良時代の高僧行基が建立したと伝えられる愛染院があります。本堂にまつられている観音菩薩立像(いずれも堺市指定有形文化財)は、毎年8月10日の千日会にだけ開扉される秘仏本尊です。

M ため池オアシス

金岡地区には、ため池や田畠が広がる自然の中で四季を感じることのできる区民の憩いの場が、創出されています。



N 金岡公園 **O 大泉緑地**

P さくら今池公園

体育館、陸上競技場、テニスコート、野球場等がある「金岡公園」、大阪四大緑地の一つである「大泉緑地」、災害時の一次避難地の機能を有している「さくら今池公園」等のほか、子育て世帯をはじめとした幅広い年齢層に愛される様々な公園が整備されています。



※写真:「堺市北区役所Instagram」投稿写真を引用

都市の魅力は、住環境、教育環境、子育て環境、商業施設の充実、地域の行事などで感じることができます。

北区民意識調査で区民が魅力として回答した主な項目は次のとおりです。

1 通勤、通学などの交通の利便性

例①

鉄道 「中百舌鳥駅周辺」



ポイント

中百舌鳥駅は大阪都心部に直結し、南部大阪一の乗客数を誇る交通結節点です。中百舌鳥エリアは上位・関連計画において「イノベーション創出拠点」と位置づけられ、駅周辺エリアの活性化に向け、「交流・活動が生まれるひとを中心のエリアを形成」をコンセプトに様々な取組が進められています。

例②

道路網 「新金岡駅周辺」



ポイント

北区の東西と南北を走る主要な道路である大阪中央環状線（府道2号線）と常磐浜寺線（府道28号線）が交差し、道路周辺には、商業施設や官公庁、大規模公園などが並んでいます。令和11（2029）年度には、北堺警察署の西隣において（仮称）新金岡複合公共施設を整備予定です。

【空から見た北区の魅力】



2 公園をはじめとする緑、自然などの豊かさ

例①

公園「金岡公園」・「大泉緑地」



ポイント

金岡公園は競技スポーツから健康運動まで対応できる運動公園で、民間活動を導入したスポーツパークとして、再整備の検討を行っています。大泉緑地は、堺市内最大の都市公園で、季節ごとに趣を変える公園の自然を感じながら、散歩からディキャンプまで、思い思いの時間を過ごせる都会のオアシスです。

例②

自然「農地」



ポイント

金岡校区や北八下校区には、今も田畠が残っており、稲が豊かに実る喜びなどを感じることができます。採れたての野菜などを農家から直接購入できる直売所も賑わっています。

3 古墳、街道や祭りなどの歴史的資源の豊かさ

例①

古墳「ニサンザイ古墳」



ポイント

日本第7位の大きさを誇り、西隣には御陵山公園が設けられ、古墳のお堀に沿う形でウォーキングコースが整備されています。古墳を眺め古代のロマンを感じながらウォーキングを楽しむこともできます。

例②

神社「百舌鳥八幡宮」



ポイント

樹齢約800年の楠をはじめとした樹木や重厚なたたずまいの建築物から歴史を感じることのできる神社です。「月見祭」と呼ばれる豊作の祈願と満月を祝う風習とが合わさった祭りでは、ふとん太鼓の勇壮華麗な姿に魅了され、毎年多くの人が訪れます。

3

北区の特性と課題

各種統計データ、堺市市民意識調査(令和6(2024)年度調査)、堺市北区民意調査(令和6(2024)年度調査)、北区政策会議での意見から次のことが北区の特性と課題であると整理しました。

北区の特性

- ✓ 01 7区で人口が最も多い。
- ✓ 02 7区で転入者数が堺区に次いで多い。
- ✓ 03 7区で転出者数が最も多い。
- ✓ 04 7区で市外への15歳以上通学者・通勤者の割合が最も高い。
- ✓ 05 7区で出生数が最も多い。
- ✓ 06 7区で生産年齢人口(15歳から64歳)の割合が最も高く、老人人口(65歳以上)の割合が最も低い。
- ✓ 07 7区で一人当たりの公園面積が南区に次いで広い。
- ✓ 08 7区の中で「魅力や愛着を感じる都市だと思う」と回答した割合が堺区と並んで最も高い。
- ✓ 09 7区の中で「歴史文化資源を身近に感じることができる」と回答した割合が堺区に次いで高い。
- ✓ 10 7区の中で「自転車の利用環境に満足している」と回答した割合が堺区に次いで高い。
- ✓ 11 「北区に住み続けたいと思う」と回答した割合が約90%である。

北区の課題

1 人口減少の見込み

- 北区は人口及び出生数が7区の中で最も多いものの、他区と同様に死亡数が出生数を上回る自然減少の状況です。過去10年間でみると人口は令和2(2020)年まではゆるやかな増加傾向にありましたが、令和3(2021)年から減少傾向に転じ、今後も人口減少が進む見込みです。

2 防犯・防災の取組

- 北区の全刑法犯認知件数は、令和3(2021)年の935件から増加傾向にあり、令和6(2024)年には1,252件となっています。北区民意識調査では、「治安の良さ」、「防犯に関する取組の充実」に対して課題に感じている方の割合が高いことから、地域の実情に合わせた取組なども含め、住民の体感治安の向上が望まれています。
- 北区は、7区で市外への15歳以上の通学者・通勤者の割合が最も高く、昼夜間人口比率が低く、共同住宅に居住している割合が最も高い区です。北区民意識調査では、「防災に関する取組の充実」についても課題に感じていることの上位にあがっています。昼間に発災した際の対策や共同住宅における防災への対策が求められます。

3 子育て環境の充実

- 堺市市民意識調査(令和6(2024)年度調査)では、前回(令和元(2019)年度調査)と比べて、「子育てがしやすい都市だと思う」割合は増加し、子育て環境に対する評価は上昇しています。しかし、評価割合は56.0%で7区中4位であり、出生数や子育て世代にあたる生産年齢人口が最も多い北区として、引き続き子育て支援の推進に取り組むことが必要です。
- 北区民意識調査では、未就学児のいる子育て世帯において、情報を知りたい項目として「子育て支援に関する取組の充実」、「教育、保育施設の充実」の割合が高くなっています。また、地域活動の参加状況では、前回(令和元(2019)年度調査)と比べて、「参加している」が10ポイント以上低下しているため、子育て世帯への情報提供や活動への参加のきっかけの提供を継続して行うことが必要です。

4 地域の魅力向上

- 北区では、転入者が多いですが、転出者も多く、住みたい・住み続けたいと思えるよう、定住魅力の向上が必要です。
- 北区民意識調査では、北区の魅力向上・課題解決に対して、区役所が力を入れてすべきことの1位は「情報の発信」(38.5%)、区民ができることの1位は「区役所などからの情報に関心を持つ」(56.3%)でまた、魅力を発信伝達したくなる条件として、「魅力を感じるスポットや地域活動を知ったら」の割合が高く、北区の魅力を発掘・創出し、広く発信することが必要です。

5 住民同士のつながりの希薄化

- 北区民意識調査では、北区の住民同士のかかわりあいの有無について、前回（令和元（2019）年度調査）と比べて、いずれの項目も低下し、特に「おすそ分けをしたり、おみやげを渡したりもらったりする」、「立ち話をする」は10ポイント以上低下しており、住民同士のつながりの希薄化が顕著であり、孤立や地域コミュニティの弱体化が懸念されます。
- 北区では、自治会をはじめボランティア団体やテーマごとの活動団体などが活発に地域活動を行っており、地域社会の安全・安心を支える重要な役割を担っています。北区民意識調査では、地域活動に参加している方は、北区に住み続けたいと思う割合が高くなっています。しかし、地域活動に参加している割合は20%台と低く、北区への愛着を深め、住みよい地域とするためにも、地域活動への参加促進が課題です。

6 健康への関心の高まり

- 北区民意識調査では、参加してみたい地域活動は「健康づくりに関する活動」、「スポーツ、レクリエーションに関する活動」が上位で、「健康づくりに関する活動」については、年代が高くなるほどニーズが高くなる傾向があります。また、20代から30代では「スポーツ、レクリエーションに関する活動」が高い数値で、このことから、幅広い年齢層に対する健康や運動をテーマとした地域活動の活性化が求められています。

7 新金岡地区の活性化

- 新金岡地区の住宅の約半数を占める公的賃貸住宅や分譲マンションなど、多くの公共・民間施設などが更新時期を迎えてます。また、地区内の人口減少や高齢化も進んでいますから、地域の活力低下が懸念されます。

【新金岡地区における取組】

「新金岡地区活性化推進プラン」を令和7年3月に策定し、生活環境の魅力を向上させることにより、多世代が安全・安心に暮らすことができ、活気あふれる地域社会が持続する都市の実現に向けた取組を進めています。



将来のイメージ図

SDGsへの貢献

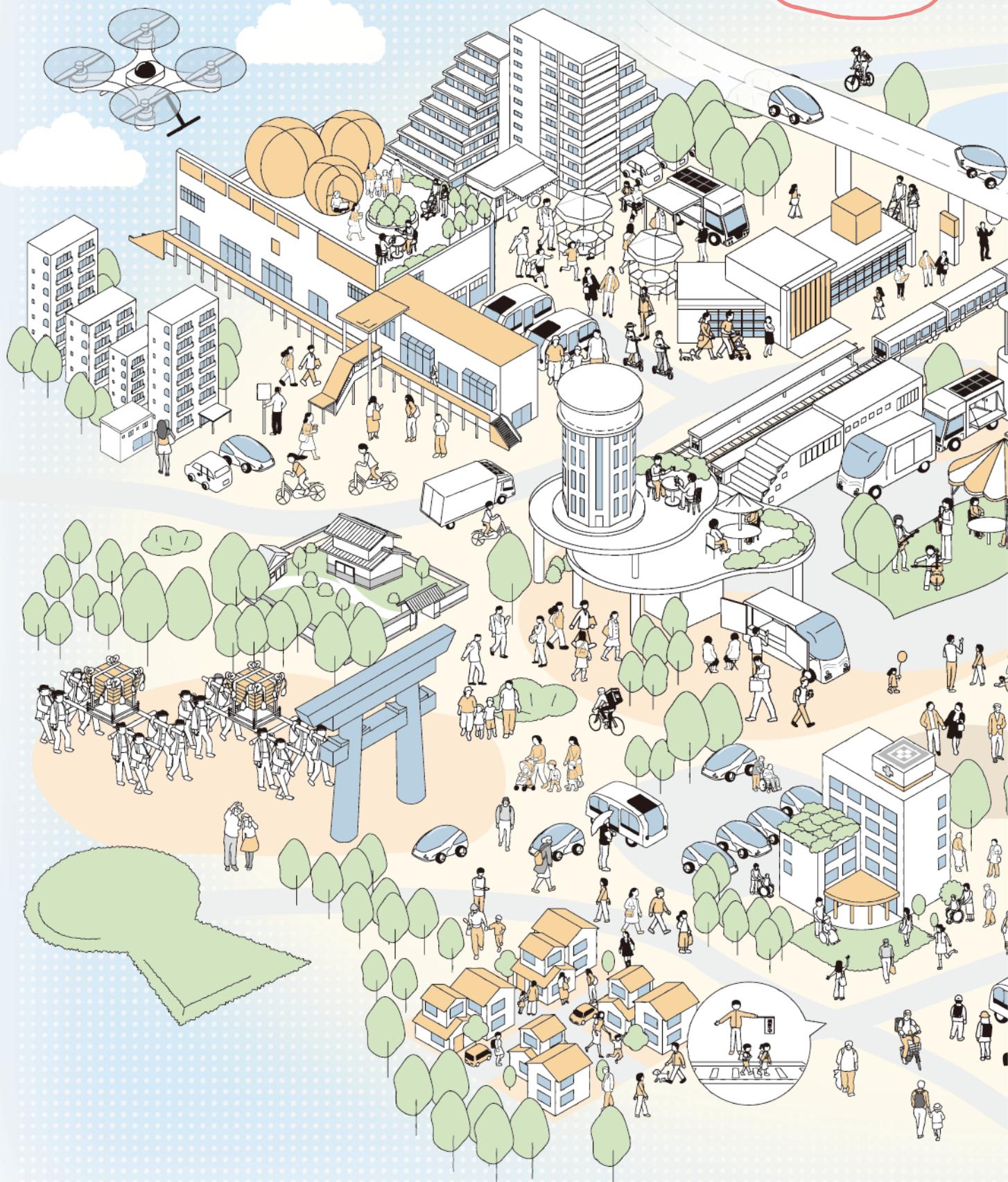
- 平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals 略称：SDGs）は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、全ての加盟国が令和12（2030）年までに取り組む国際社会の普遍的な目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、発展途上国のみならず、先進国も自ら取り組むべきものとして設定されています。
- 日本では、SDGs推進本部を設置し、SDGs実施指針を策定しています。実施指針では、「広く日本全国にSDGsを浸透させるためには、地方自治体及びその地域で活動するステークホルダーによる積極的な取組が不可欠」とされており、地方自治体による一層の取組の推進が求められています。このビジョンを読んでいるあなたもステークホルダーの一人です。
- 堺市は平成30（2018）年「SDGs未来都市」に選定されました。北区の将来像実現に向けても、「SDGs未来都市計画」（令和8（2026）年3月策定）を踏まえて、みんなでSDGsの推進に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



北区「はっぴー・すまいる」ビジョン将来像イメージ図

将来の北区を
想像して
みましょう





みんなで描くこれからの北区

北区の魅力や特性・課題、そして北区を取り巻く社会情勢を総合的に踏まえ、区民みんなが共感し、行動できるような、前向きで明るい将来像を掲げます。また、将来像実現のための、さくせん、はっぴー・すまいる（基本方針）、実施体制を本ビジョンで明らかにします。

北区の将来像

1 将来像

「たのしい」でつながる北区

～「たのしい」が生み出す、「はっぴー」と「すまいる」～

- 令和3(2021)年3月に策定しました「北区みんなのまちビジョン」では、将来像に『いろんな「たのしい」でつながる街・北区』を掲げ、新しく行動を生み出すこと、ゆるやかなつながりを生み出すことをめざして、これまで様々な取組を実施してきました。
- 引き続き多様化、複雑化する様々な住民ニーズに対応するためには、豊かで柔軟な発想で新たな一步を踏み出すことが求められます。また、安全・安心な暮らしを土台として区民それぞれが無理なく関わるために、「たのしい」と感じることのできるゆるやかで心地よいつながりを広げることが求められます。これらの行動を通して、地域共創が推進されるものと考えます。

2 将来像への想い

- 新しく何かを始めるときには、勇気がいることもあるかもしれません。そのときに「これ、楽しそう！」と思えることが行動するきっかけになることでしょう。それぞれの「楽しそう」が動機となった新しい一步が、ひろがり、つながり、輪が生まれることをイメージし、引き続き「たのしい」をキーワードとしました。
- それぞれの「たのしい」体験が積み重なりひろがることで、みんなが「幸せ」で「笑顔」になると考えます。そこで、区民が様々な活動に主体的かつ積極的に関わり、「たのしい」でつながることで、地域の課題が解決され、「はっぴー」と「すまいる」があふれることをめざします。
- みんなでポジティブにつながり、持続可能な区民協働のかたちをつくることが、北区の将来像の実現に寄与するものと考えます。

「たのしい」とはどんなことでしょうか

- 「たのしい」という言葉で思い浮かべる内容は、人それぞれ違います。
- 「笑顔で朗らかに暮らしている、明るい、心が満たされている、ワクワクする、幸福度が高い」といったことを思い浮かべる方が多いでしょう。
- 本ビジョンでは、「安全・安心の環境が守られている」、「暮らしの豊かさを実感している」、「スポーツや趣味などを通じて健康で充実した生活を送っている」など、一般的には「たのしい」と連想しないことでも、前向きに考えることができれば「たのしい」と捉えます。
- また、悩みや不安を抱える方、困難な状況にある方などが、それぞれに寄り添った適切な支援などを受けることによって、心穏やかに日々を過ごし、何かに夢中になったり楽しみを見出したりしながら、少しずつポジティブな気持ちを持つことも「たのしい」と捉えます。
- これらの多様な「たのしい」から「はっぴー」と「すまいる」が生まれ、それらが広がり、つながることをめざします。



※写真：「堺市北区役所Instagram」投稿写真を引用

みんなで取り組む3つのさくせん

みんなで将来像を実現するためにどのようなことを意識すればよいかを、さくせんに沿ってその道筋を明らかにします。

「たのしい」でつながるための3つのさくせん

1 さくせんの概要

次の3つのさくせんを実践することにより「たのしい」が好循環し、様々なつながりが生まれます。さくせんA、B、Cのどこからでも自由に始めることができ、進め方も自由です。

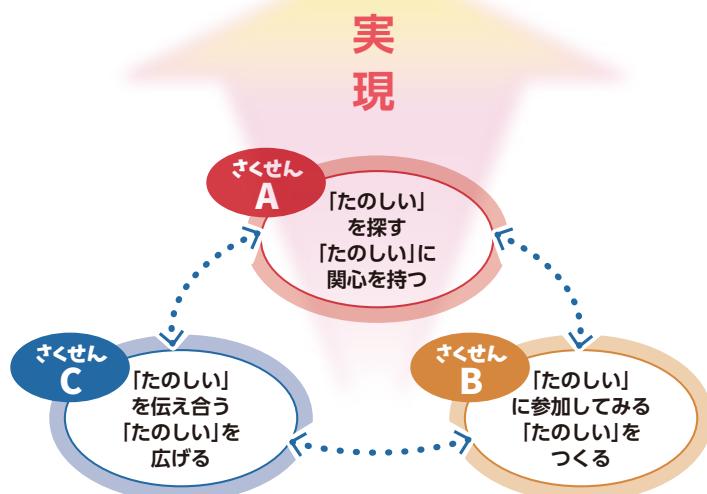
さくせん A → 「たのしい」を探す・「たのしい」に関心を持つ
=行動のきっかけは、まず知ることから

さくせん B → 「たのしい」に参加してみる・「たのしい」をつくる
=興味関心のある活動に参加する・新たに活動を始める

さくせん C → 「たのしい」を伝え合う・「たのしい」を広げる
=人と人・人と活動・活動と活動がつながり、協働の輪が広がる

将来像

「たのしい」でつながる北区



2 さくせんの内容とそれとの役割

- さくせんを実践するのは区民や地域活動団体です。区役所は、市民と直接関わる行政の最前線として設置され、それぞれのさくせんによって展開される「区民」「地域活動団体」の行動を支援します。

さくせんA 「たのしい」を探す・「たのしい」に関心を持つ

- 行動のきっかけは、まずは知ることから始まります。知るきっかけは様々ですが、普段の生活の中で偶然情報を得ることもあれば、疑問や興味を持った情報について自分で探すといったこともあります。
- みんなの「たのしい」を感知するアンテナの感度をあげることで、より「たのしい」を発見しやすくなり、モチベーションも高まります。
- 「楽しいかも」と感じた気持ちを大切に、まずは関心を持ってみましょう。

さくせんAにおけるそれとの役割

区 民

- 区役所などからの情報に関心を持つ。
- 地域の特性や魅力について知ろうとする。



地域活動団体

- 活動内容を分かりやすく情報発信する。
- 活動参加者に口コミで活動内容を広める。

区役所

- 北区広報紙、北区役所ホームページ、SNSのそれぞれの媒体の特色に応じて情報発信する。
- 情報を届けたい人との接点（情報を得る機会）を意識しながら民間企業などと連携した情報発信を行う。



イラスト：たなか ともこ

さくせんB 「たのしい」に参加してみる・「たのしい」をつくる

- 自分が興味を持ったことにまずは参加してみることで、新しい発見につながります。
- 参加してみて、もっと知りたい、関わってみたいと感じることがあれば、自分の「たのしい」として続けてみましょう。
- 自分から興味のあることや「たのしい」と思えることに取り組み、工夫や知恵でアレンジしてみましょう。

さくせんBにおけるそれぞれの役割

区 民

- 区役所のイベントや地域の活動にまずは参加してみる。
- 興味を持って続けてみる。



地域活動団体

- 仲間が気軽に集える場を提供する。
- 続けて参加したいと思えるようにサポートする。

区役所

- 気軽に参加できるイベントや講座を実施する。
- 活動や取組の充実が図られるようアドバイスや支援を行う。



イラスト：たなか ともこ

さくせんC 「たのしい」を伝え合う・「たのしい」を広げる

- 「たのしい」をみんなに伝えて共有しましょう。
- 共有することで新しい気づきにもなり、仲間が増えることにもつながります。
- 仲間同士がつながり、別の仲間同士ともつながることで、更に「たのしい」が広がり、多様な交流を生み出します。

さくせんCにおけるそれぞれの役割

区 民

- 自分の「たのしい」を周囲に伝え、活動に誘ってみる。
- 区役所や地域で行われている交流会や情報交換会に積極的に参加する。

地域活動団体

- 活動が活性化するよう工夫を図る。
- 他団体と交流し、情報交換などを通じて活動の輪を広げる。

区 役 所

- みんなの行動をより多くの人に知ってもらえるよう広報活動に力を入れる。
- 校区や分野を超えて地域活動団体がつながる機会を設ける。



みんなで進める4つの「はっぴー・すまいる」

本ビジョンにおいては、北区の特性を生かし、区民と区役所が一緒に進める取組の方向性をまとめ、基本方針として体系づけます。

基本方針は、区民と区役所が前向きに関わっていけるように「はっぴー・すまいる」と表現し、「たのしい」でつながるための3つのさくせんに沿って取組を進めます。

それぞれの取組については、より適切なタイミングで、また、4つの基本方針を相互に関連させて相乗効果を生むよう工夫を図りながら実施し、取組内容や実施状況等を積極的に広く発信することによって新たな「たのしい」につなげます。

はっぴー・すまいる
(基本方針)

その1

チームでまもる地域の安全・安心の『わ』

現 状

- 地域では、防犯カメラや防犯灯の設置、子どもの登下校時の見守り活動などの防犯活動が行われています。また、各校区の自主防災組織を中心に、たくさんの集客が見込めるイベントと同時開催で防災訓練を実施するなど、地域の実情に応じて工夫を凝らした防災に関する取組が行われています。
- 区役所では、区民生活の安全・安心の確保に向け、地域の防災力、防犯力の向上に取り組んでいます。

取組事例

- 防犯カメラや防犯灯の設置などによる防犯環境の整備
- 特殊詐欺被害防止に向け、警察などと連携した啓発や取組の実施
- 災害に強い地域を実現するため、住民同士のつながりを大切にしながら自助、共助、公助の観点を踏まえた地区防災計画の策定を支援
- 大規模災害に備えて地域防災力の向上を図るため、自助・共助の考えに基づき、発災時に自主防災組織が中心となって的確に活動できるよう支援
- 将来の地域防災力を担う人材育成のため、小中学生などを対象にした講座や、マンションなど共同住宅における災害への備えや住民同士・地域などと連携することの重要性を学ぶマンション防災講座を実施



「特殊詐欺対策機器の貸出」



「地域での防災訓練」



「ジュニア防災講座」

今後求められていること

- 北区の全刑法犯認知件数の減少
- 多様化し増加傾向にある特殊詐欺被害対策
- 地域の実情に応じた防犯カメラの効果的な設置
- 地域の防犯・防災の担い手の育成及び地域の安全・安心をつくる自治会への加入促進
- 洪水や台風などの自然災害への備え、南海トラフ地震や上町断層帯地震など大規模地震災害を見据えた備え
- 災害に強い地域を実現するため、自助、共助、公助の観点を踏まえた地区防災計画の策定支援
- 指定避難所である小・中学校などでの円滑な避難所開設・運営
- 若い世代への防災意識向上に向けた啓発や取組
- 昼間に発災した際の防災対策やマンションなどの共同住宅における防災対策

取組の方向性

はっぴー・すまいる (基本方針) 1-1 チームでまもる地域の安全

区民・事業者・警察などと連携し、地域防犯力や交通安全の意識を高め、安心して暮らせる地域社会の実現に取り組みます。

- 1-1-1 ●多様な主体との連携を図りながら、地域住民の防犯意識や交通マナーの向上に向けて取り組みます。
- 1-1-2 ●地域による自主的な防犯活動を警察などとの連携により支援します。
- 1-1-3 ●家族・地域をはじめ、みんなで呼びかけ合い、多様化する街頭犯罪や特殊詐欺被害などの防止に向けて取り組みます。

はっぴー・すまいる (基本方針) 1-2 チームで高める地域防災力

住民同士のつながりを大切にしながら、自助、共助、公助の観点を踏まえて災害に強い地域の実現に取り組みます。

- 1-2-1 ●災害時に、地域の特性に応じた防災活動が実施できるよう地区防災計画の策定を支援します。
- 1-2-2 ●地域防災力を担う人材育成につなげるため防災に関する知識を習得し学び合う場をつくります。
- 1-2-3 ●災害時に、自主防災組織などが適切かつ迅速に行動できるよう、必要な備えや実践に即した防災訓練の実施を支援します。

成果指標	現状値	目標値 (令和 12(2030)年度までに)
「防犯に関する取組の充実」に不満を感じている区民の割合*	13.1%	10%未満
「防災に関する取組の充実」に不満を感じている区民の割合*	6.9%	現状値未満
地区防災計画策定 校区数 (全15校区中)	5 校区	10 校区

*堺市北区民意調査



現 状

- 地域では、子育てサークル、校区別遊ぼう会、みんなの子育てひろばなどにおいて、就学前のこどもとその保護者、子育て支援者などによる様々な交流が行われています。
- 区役所では、子どもの成長・発達段階に応じたきめ細かな支援や、地域全体で子どもの健やかな育ちを支え、子育てしやすい環境整備に向けた取組を行っています。

取組事例

- 地域で子育てを支える取組を広く周知し、子育て世帯と子育てを応援する団体をつなぐ機会として、親子で楽しめる催しやパネル展示などを実施するイベント「北区子育てフェスタ」を開催
- 北区に転入して間もない就学前のこどもとその保護者に、地域の子育て支援サービスなどの情報や相互交流の機会などを提供
- 就学前のこどもとその保護者が気軽に集い、仲間づくりの輪を広げるみんなの子育てひろばの設置
- 育児に関わる父親同士の仲間づくりのきっかけとなる交流会の開催



「北区子育てフェスタ」



「みんなの子育てひろば」



「パパ同士の交流会」

今後求められていること

- 「子育てがしやすい」「住み続けたい」と実感できるよう、子育て支援に関する取組を充実
- 子育ての不安感・負担感を軽減させるため、より一層の子育て世帯間・子育てを応援する団体との交流促進、保護者やこどもが孤立しないための取組
- 子育て支援活動を次の世代につなぐ取組
- 地域で子育て支援活動を行っているグループ同士の交流や担い手の育成支援
- こどもが安心できる地域の居場所形成
- 子育てがたのしくなるような情報発信

取組の方向性

はっぴー・すまいる
(基本方針)

2-1

こどもが健やかにいきいきと育つ環境

地域との関わりの中でこども自身が多様な体験を通して心身ともに健やかに育つ環境整備を推進します。

2-1-1

- こどもが安全・安心に過ごすことのできる居場所などで、人とのつながりや様々な体験を得る機会を作ります。

2-1-2

- こどもが地域の中で健やかに成長できるように年齢に応じて様々な視点から適切な支援を行います。

2-1-3

- 子どものSOSを様々な機会を通じて捉え、地域や学校と一緒に多角的に支援します。

はっぴー・すまいる
(基本方針)

2-2

保護者が笑顔で子育てできる環境

子育て中の保護者の不安を解消し、安心して子育てができ、子育ての喜びを感じることができる環境を創出します。

2-2-1

- 保護者の様々なニーズに対応した、子育てについての知識や理解を深める機会を作ります。

2-2-2

- 様々な媒体やICTなどを活用して、子育てに関する知識や情報を保護者の視点から発信します。

2-2-3

- 様々な機会を通じ、保護者が参加しやすい交流の場の提供や保護者に寄り添った支援を行います。

はっぴー・すまいる
(基本方針)

2-3

地域ぐるみでつくる安全・安心な子育て環境

子育て世帯を地域全体で支える仕組みを作ります。

2-3-1

- 地域で安心して子育てができるように子育てに関する理解を深め、子育てを応援する機運を醸成します。

2-3-2

- 地域や民間事業者などと連携し、子育てに関する様々な支援を行います。

2-3-3

- 地域で子育てに関する活動を行う団体同士の交流を促進し、それぞれの活動が将来にわたって継続できるよう、担い手の発掘・育成支援に取り組みます。



成果指標	現状値	目標値 (令和 12(2030)年度までに)
「子育て支援に関する取組の充実」に満足している区民(未就学児あり)の割合 ^{*1}	47.4%	70%
「子育てがしやすい都市」と思う区民の割合 ^{*2}	56.0%	73%

※1 堺市北区民意調査 ※2 堺市市民意識調査



現 状

- 地域では、百舌鳥野地域や歴史街道、祭りなどの地域特性を多くの方に知ってもらうための活動や区民の憩いの場である公園を利用した活動が行われています。
- 区役所では、地域活動を活性化させる取組や北区の魅力の発信を行っています。地域活動は、地域の魅力をつくり守る、また、その活動そのものが魅力ともなる存在です。

取組事例

- 各種区民活動団体などに活動場所の提供や各種講座などを実施する「区民活動支援コーナー」
- 北区15校区の模擬店出店・歌や踊りのステージなどのイベントを実施する「北区交流まつり」
- 北区のブランドイメージ向上や愛着の醸成につなげるため、SNSなどを活用して広く魅力情報を発信



「区民活動団体の交流会」



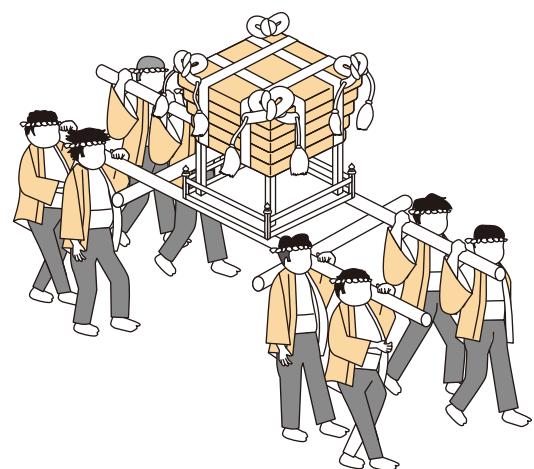
「北区交流まつり」



「インスタグラムを活用した魅力発信」

今後求められていること

- 様々な手法を活用した北区の魅力の発掘・創出、発信
- 多様な主体が連携し地域の魅力創出を促進
- 区民や事業者などによる北区の魅力の発掘・創出、発信
- 幅広い世代に対する地域活動への参加促進
- 地域コミュニティの活性化



取組の方向性

はっぴー・すまいる 3-1 北区ブランドの発信

区民自らが北区の魅力を再確認し、愛着を持って発信することに加え、新たに発掘・創出した魅力を発信することによって、北区のブランドイメージの向上につなげます。

- 3-1-1 ●北区内の歴史文化資源や公園・緑地、農地、ため池などの豊かな地域資源、地域の特色ある取組など北区の魅力を再認識し、民間事業者などとの協働により、様々な媒体を活用して発信します。
- 3-1-2 ●SNSなどを利用して区民協働により新たな魅力を発掘します。
- 3-1-3 ●地域と一体となって魅力創出に取り組みます。

はっぴー・すまいる 3-2 つながり・ひろがる 魅力あふれる地域活動

様々な分野で展開されている地域活動団体の活動を活性化し、それぞれをつなげることで、区民みんなが参加し地域の魅力を感じることができるように支援を行います。

- 3-2-1 ●地域活動を活性化するための支援を行います
- 3-2-2 ●地域活動団体の交流の機会を作ります。
- 3-2-3 ●区民の横のつながりや一体感、地域への愛着を高める取組を支援します。

成果指標	現状値	目標値 (令和12(2030)年度までに)
「魅力や愛着を感じる都市」と思う区民の割合 ^{※1}	73.8%	75%
「地域活動に参加している」区民の割合 ^{※2}	23.0%	30%
北区公式インスタグラム フォロワー数	3,759 件	5,400 件

※1 堺市市民意識調査 ※2 堺市北区民意識調査



イラスト：たなか ともこ

現 状

- 地域では、子育て世代や高齢者の通いの場で講師などを活用し健康増進に関する活動が行われています。
- 区役所では、健康寿命延伸に向けて各専門職種、関係機関などが協働、連携しての生活習慣病予防の講座や健康づくり自主活動グループの活動支援を通じて健康増進の取組をしています。

取組事例

- 区役所や区内施設などを利用したパネル展示、リーフレット配架や配布、健康のつどい開催により、区民が主体的に健康増進に取り組めるような情報の発信
- 生活習慣病予防に向けて、各種健康講座の開催および地域の通いの場での健康情報の発信
- 健康づくり自主活動グループのリーダーに日常の活動に有効な情報を提供し、地域での健康増進・健康を支える取組を支援



「健康のつどい」



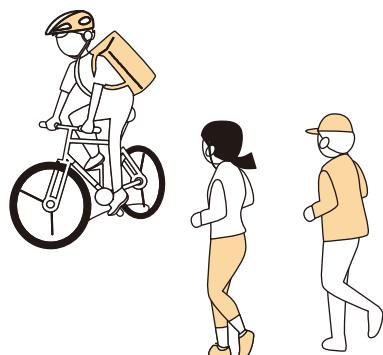
「美 BODY 講座」



「北区健康づくり推進委員会」

今後求められていること

- 主要な死因である循環器疾患の予防の取組
- 区民のライフコースを考えた健康増進の取組
- ウォーキングやサイクリングなども取り入れた区民が気軽に健康増進に取り組める環境整備



取組の方向性

はっぴー・すまいる 4-1 みんなで一緒に高める健康意識

区役所からの健康情報の発信に加え、区民から家族や知人、地域に情報が伝わることによって、地域全体の健康意識が高まるよう支援します。

- 4-1-1 ●地域の通いの場などの身近な場や区役所で、循環器疾患やフレイル予防、がん検診に関するライフコース別の啓発や健康講座を行います。
- 4-1-2 ●民間事業者などと連携した区民参加型の健康啓発を行います。

はっぴー・すまいる 4-2 明るい未来につながる健康増進

幅広い年齢層の健康増進を目的とした多様な機会を創出し、将来的な健康課題の発生予防を目的とした取組を行います。

- 4-2-1 ●区民が主体的に健康増進に取り組める機会を提供します。
- 4-2-2 ●各専門職種、関係機関などが協働・連携し、健康増進に主体的に取り組むグループの活動を支援します。
- 4-2-3 ●運動機能、口腔機能、低栄養の改善を含め総合的な介護予防の取組を行います。

成果指標	現状値	目標値 (令和12(2030)年度までに)
「健康づくりに取り組める環境の充実(ウォーキング活動、健康教室など)」に満足している区民の割合 ^{*1}	28.7%	32%
「定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしている」区民の割合 ^{*2}	74.9%	76%

*1 堀市北区民意調査 *2 堀市市民意識調査

さくせん C



1

さくせん A



2

さくせん B



3



4

イラスト：たなか ともこ

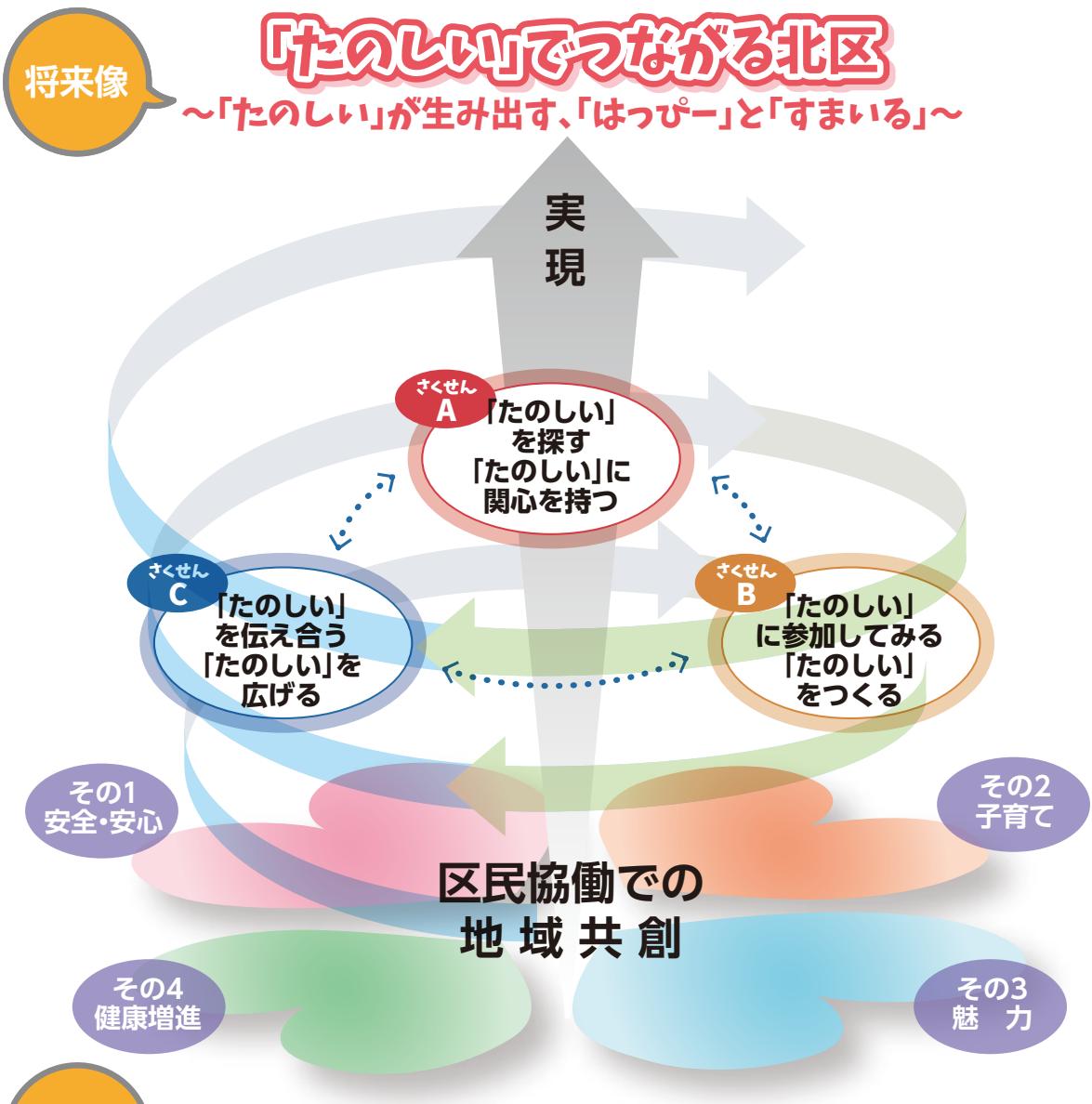
実施体制

- 「たのしい」でつながるための3つの「さくせん」を理解し、「はっぴー・すまいる」（基本方針）を実践するのは、区民、地域活動団体のみなさんです。
- 区役所は、区民や地域活動団体のみなさんと思いを共有し、課題解決のための取組を推進します。
- 区民、地域活動団体、区役所はそれぞれの役割を踏まえ、地元企業や学校、関係機関とも連携しながら、北区が持続的に発展するために、区民みんなで「たのしい」でつながる北区」を実現しましょう。

実施体制のイメージ図



北区「はっぴー・すまいる」ビジョン全体構成図



基本
方針

その1 チームでまもる地域の安全・安心の『わ』

- ▷ 1-1 チームでまもる地域の安全
- ▷ 1-2 チームで高める地域防災力

その2 笑顔あふれる子育ての『わ』

- ▷ 2-1 こどもが健やかにいきいきと育つ環境
- ▷ 2-2 保護者が笑顔で子育てできる環境
- ▷ 2-3 地域ぐるみでつくる安全・安心な子育て環境

その3 いろんなコラボレーションでつくる・つながる魅力の『わ』

- ▷ 3-1 北区ブランドの発信
- ▷ 3-2 つながり・ひろがる 魅力あふれる地域活動

その4 多様なコミュニティで呼びかけ合う健康増進の『わ』

- ▷ 4-1 みんなで一緒に高める健康意識
- ▷ 4-2 明るい未来につながる健康増進

付 屬 資 料

目 次

資料 1 北区政策会議構成員名簿 P36

資料 2 北区政策会議開催経過及び意見募集実施経過 P37

資料 3 北区に関する統計データ等

1) . 人口 P38

2) . 住宅・環境・生活 P44

3) . 福祉 P46

4) . 防犯・防災 P48

5) . 地域社会とのつながりと居住継続意向 P50

6) . 北区の魅力と情報発信 P54

7) . 北区の課題と関心 P57

資料1 堺市北区政策会議構成員名簿(敬称略)

(任期:令和5(2023)年10月1日から令和7(2025)年3月31日まで)

	氏名	肩書等
座長	加我 宏之	大阪公立大学 農学部緑地環境科学科・教授
座長代理	天野 隆次	堺市北区自治連合協議会 会長
構成員 (五十音順)	魚谷 守信	NPO法人堺なんや衆 監事
	坂江 祥衣	公募構成員
	清水 苗穂子	阪南大学 国際学部 国際観光学科 教授
	長尾 永子	家事代行・ベビーシッターサービス スマートスマイル代表 子ども食堂つなぐば代表
	中田 萌々果	大阪公立大学 ボランティア・市民活動センター学生スタッフ
	野田 誠子	公募構成員
	羽根 恵子	北花田庭園都市・グランアヴェニュー防災会 副会長
	坊農 豊彦	一般財団法人 関西情報センター 社会ビジネス創出グループ 課長・主任研究員
	吉村 登志子	社会福祉法人 金岡会 幼保連携型認定こども園 わんぱく保育園 園長

(任期:令和7(2025)年4月1日から令和9(2027)年3月31日まで)

	氏名	肩書等
座長	加我 宏之	大阪公立大学 農学部緑地環境科学科・教授
座長代理	水野 雅司	中百舌鳥校区自治連合会・会長
構成員 (五十音順)	伊藤 嘉余子	大阪公立大学 学長補佐 現代システム科学研究科・教授
	今野 裕光	今野農園 さかいSDGs推進プラットフォーム会員
	小川 愛理	大阪公立大学ボランティア・市民活動センター 学生スタッフ
	坂江 祥衣	公募構成員
	辻 美代子	特定非営利活動法人 さかい民間教育保育施設連盟 幼保連携型認定こども園 五ヶ荘保育園 園長
	中田 萌々果	大阪公立大学 ボランティア・市民活動センター学生スタッフ
	中村 誠	中百舌鳥駅前通商店街振興組合・理事長
	野田 誠子	公募構成員
	紅谷 昇平	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科・准教授
	増田 紀夫	北区さかいボランティア連絡会・副会長 金岡校区民生委員児童委員長

資料2 北区政策会議開催経過及び意見募集実施経過

○北区政策会議開催経過

	開催日	審議内容（北区みんなのまちビジョンの改定関連）
1	令和6(2024)年6月13日	次期ビジョン策定に向けたアンケート調査
2	令和7(2025)年3月21日	次期ビジョン策定に向けた基本的な方向性
3	令和7(2025)年6月9日	次期ビジョン骨子案について
4	令和7(2025)年10月20日	次期ビジョン計画案について
5	令和7(2025)年12月●●日	次期ビジョン計画案について

○意見募集実施経過

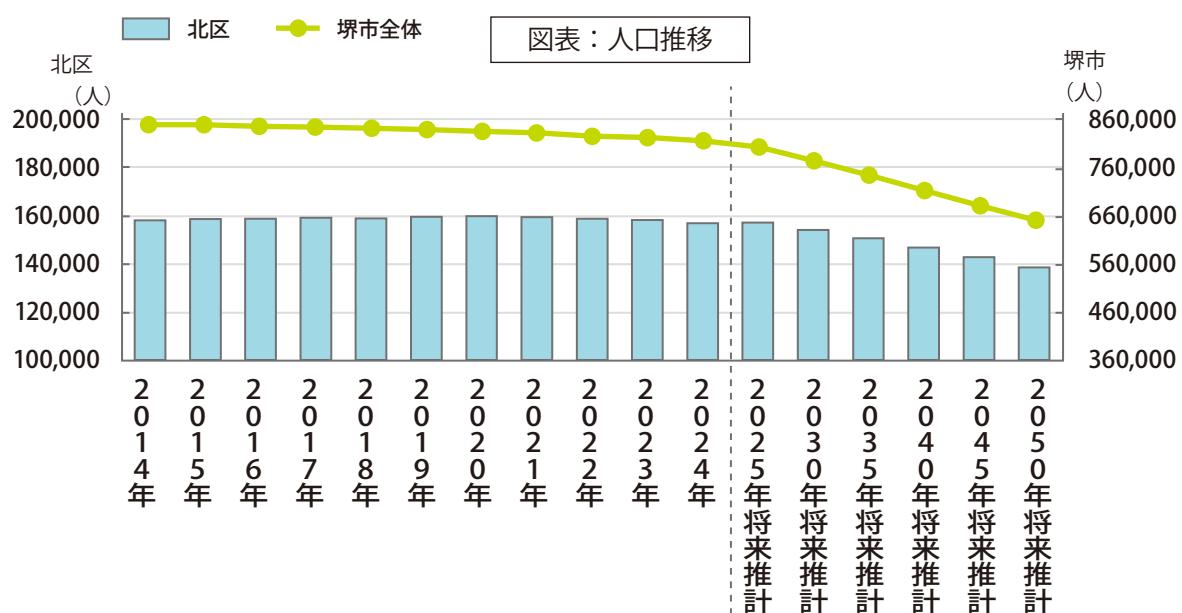
令和●(●●●●)年●月●日から令和●(●●●●)年●月●日まで実施

資料3 北区に関する統計データ等

- 国勢調査結果をはじめ官公庁が実施した各種統計調査、堺市が実施した堺市市民意識調査、北区民意識調査から分野別に北区の特性を分析しました。
北区の特性を把握するため、各種統計調査については、比較対象として北区と人口規模・面積が同程度の大阪市住吉区・大阪市東淀川区の調査結果を付記しました。

1 人口

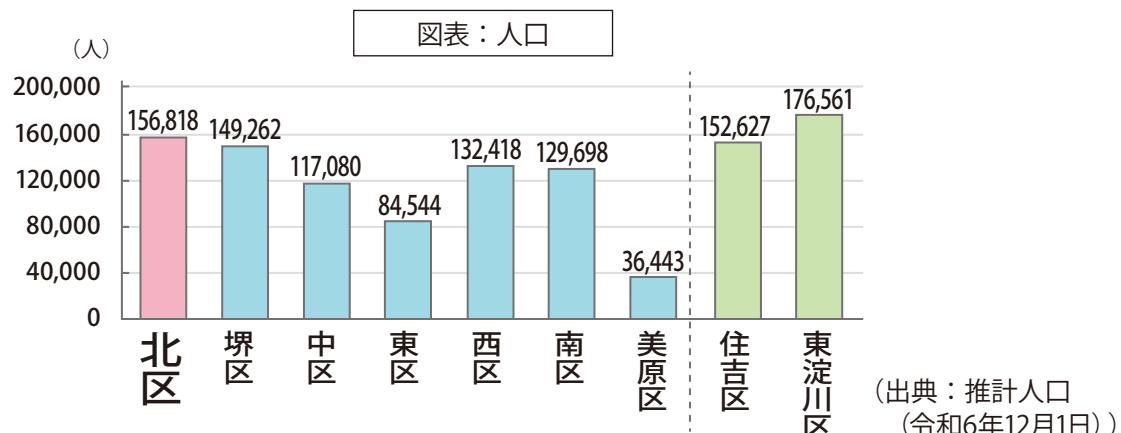
- 平成26（2014）年以降、堺市の推計人口は概ね減少傾向が続いている。北区においても令和2（2020）年までは緩やかな増加傾向が続いていたものの、令和3（2021）年から減少傾向に転じている。
○堺市独自推計によると、堺市全体と比べてやや緩やかではあるものの、北区でも人口の減少が進むと推計されている。



（出典：推計人口（各年12月1日）

2025年から2050年将来推計は総務省の国勢調査から堺市独自推計）

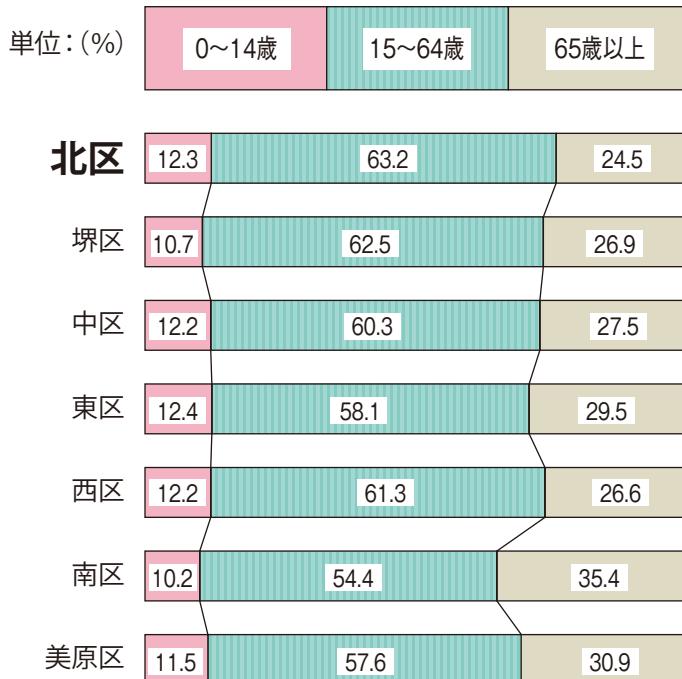
- 北区の推計人口は堺市7区の中で最も多く、156,818人。
○大阪市住吉区（152,627人）、大阪市東淀川区（176,561人）とほぼ同規模の人口である。



○年齢3区分別の人団構成を堺市7区で比較すると、北区の生産年齢人口（15～64歳）割合は堺市7区中最も高く、年少（0～14歳）人口割合は東区に次いで2番目に高い。

○また、北区の65歳以上の老人人口割合は堺市7区の中で最も低い。

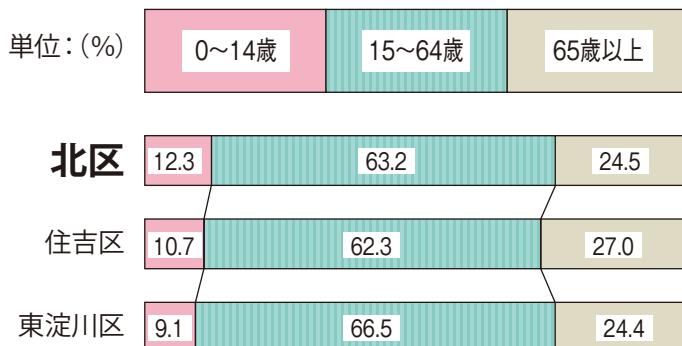
図表：年齢3区分人口構成（他区比較）



（出典：住民基本台帳）

○北区の年少人口割合は住吉区や東淀川区を上回る。

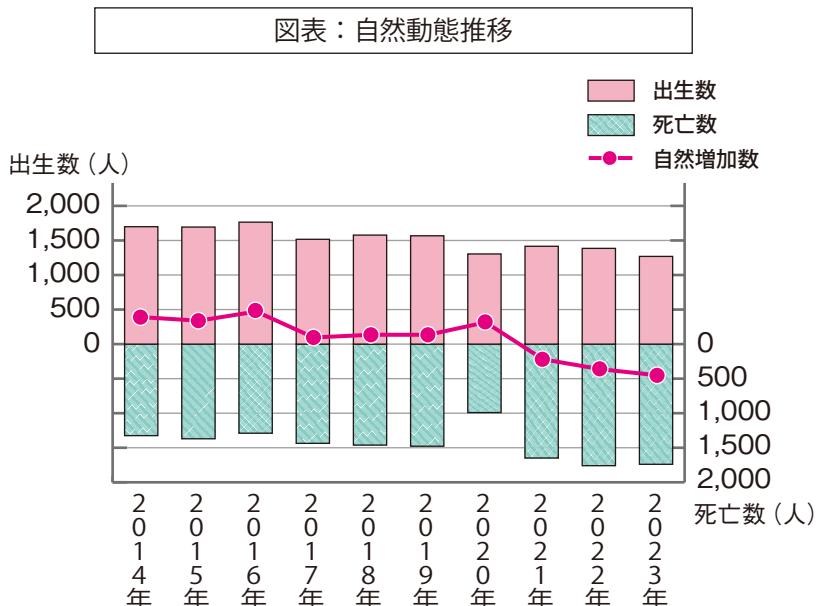
図表：年齢3区分人口構成（他市比較）



（出典：住民基本台帳）

○北区の出生数は平成26(2014)年から緩やかな減少傾向にある。平成28(2016)年のピークを境に出生数が更に減少し、令和5(2023)年では1,275人である。

○出生数から死亡数を差し引いた自然増減は平成26(2014)年には+377人であったものの、令和3(2021)年以降は自然減少に転じ、令和5(2023)年で-469人である。

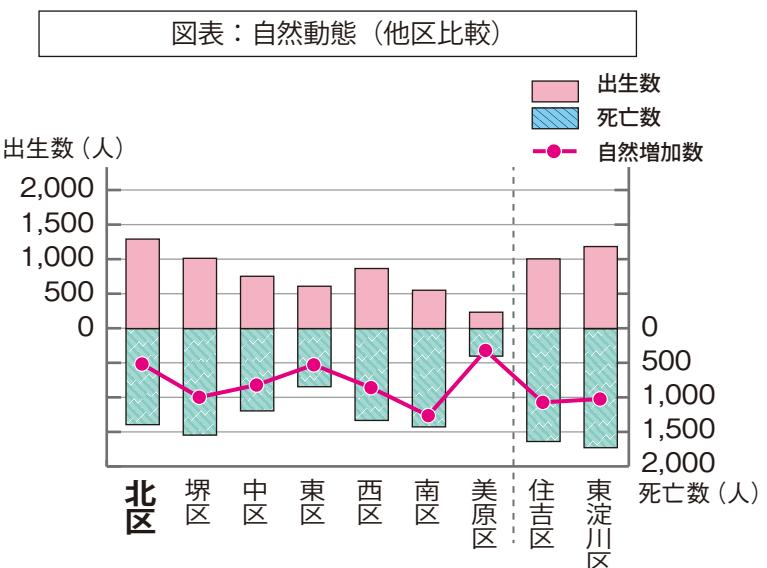


	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
自然増減数	377	322	480	82	122	123	316	-232	-369	-469
出生数	1,706	1,699	1,771	1,523	1,586	1,572	1,309	1,422	1,394	1,275
死亡数	1,329	1,377	1,291	1,441	1,464	1,449	993	1,654	1,763	1,744

(出典：住民基本台帳)

○堺市7区すべてで死亡数が出生数を上回る自然減少となって いる。北区も自然減少ではあるものの、出生数が7区中最も多 く、減少割合も最も低い。

○住吉区、東淀川区ともに自然減 少である。



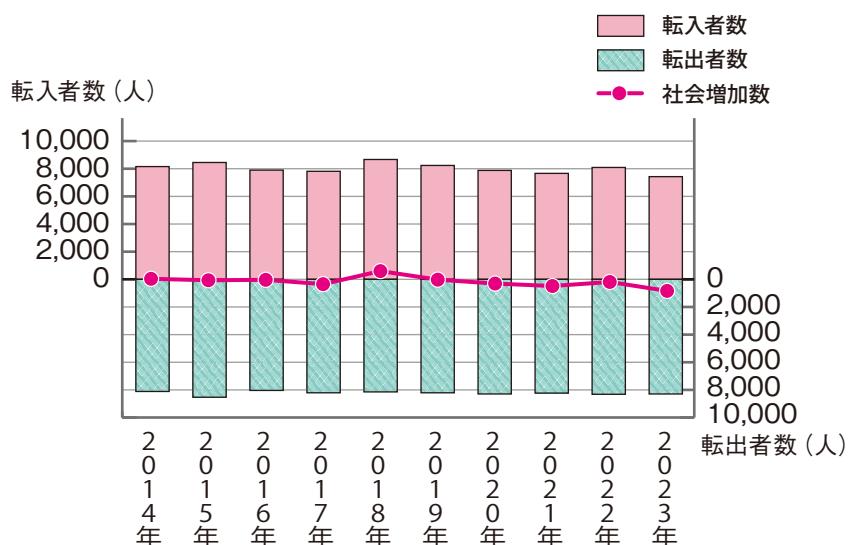
	北区	堺区	中区	東区	西区	南区	美原区	住吉区	東淀川区
自然増減数	-469	-941	-768	-478	-824	-1,229	-311	-1,046	-994
出生数	1,275	995	738	589	854	545	208	1,006	1,166
死亡数	1,744	1,936	1,506	1,067	1,678	1,774	519	2,052	2,160

(出典：住民基本台帳（令和6年）)

○北区への転入者は平成30(2018)年を境に緩やかな減少傾向である。

○転入者から転出者を差し引いた社会増加数は、令和2(2020)年以降は減少傾向が続いている。

図表：社会動態推移

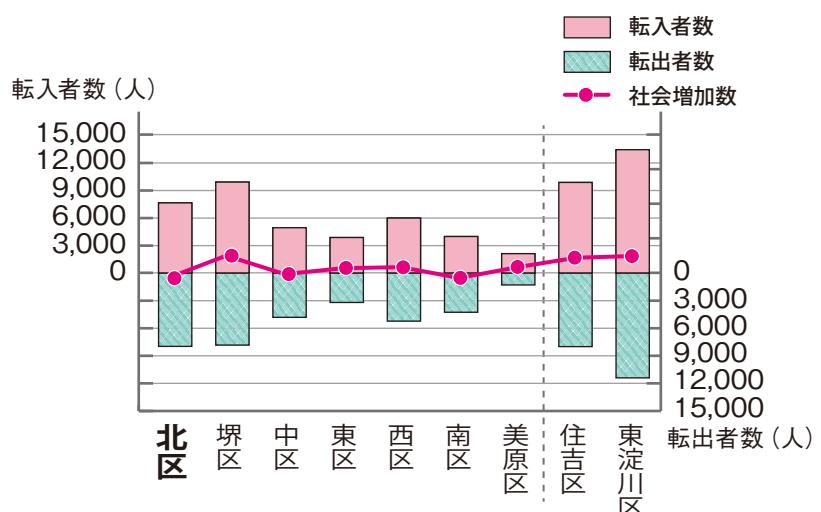


	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
社会増加数	106	-18	-15	-325	654	82	-243	-458	-172	-760
転入者数	8,121	8,453	7,908	7,802	8,667	8,224	7,914	7,667	8,009	7,425
転出者数	8,015	8,471	7,923	8,127	8,013	8,142	8,157	8,125	8,181	8,185

(出典：住民基本台帳)

○北区の転入者数は+7,425人で、堺区に次いで2番目に多い。転出者を差し引いた社会増加数は-760人で、南区と並んで堺市7区中最も減少数が多い。

図表：社会動態（他区比較）



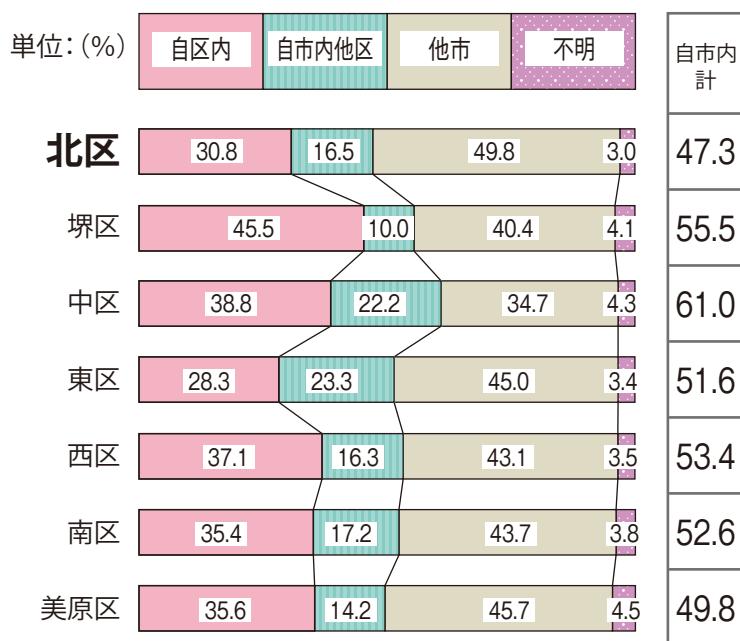
	北区	堺区	中区	東区	西区	南区	美原区	住吉区	東淀川区
社会増加数	-760	1,685	-319	333	444	-760	419	1,461	1,653
転入者数	7,425	9,736	4,684	3,661	5,865	3,730	1,902	9,668	13,271
転出者数	8,185	8,051	5,003	3,328	5,421	4,490	1,483	8,207	11,618

(出典：住民基本台帳（令和6年）)

○北区の15歳以上通学者・通勤者の就学先・就業先は、「自区内」が30.8%、「自市内他区」が16.5%、「他市」が49.8%である。

○北区の15歳以上通学者・通勤者の就学先や就業先は、堺市7区の中でも「他市」の割合が最も高い。

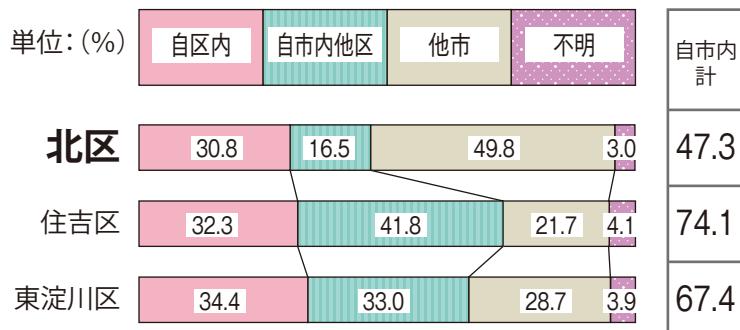
図表：15歳以上通学者・通勤者の就学先・就業先構成
(他区比較)



(出典：総務省 令和2年国勢調査)

○北区は「他市」の割合が、住吉区や東淀川区に比べて20ポイント以上高くなっている。

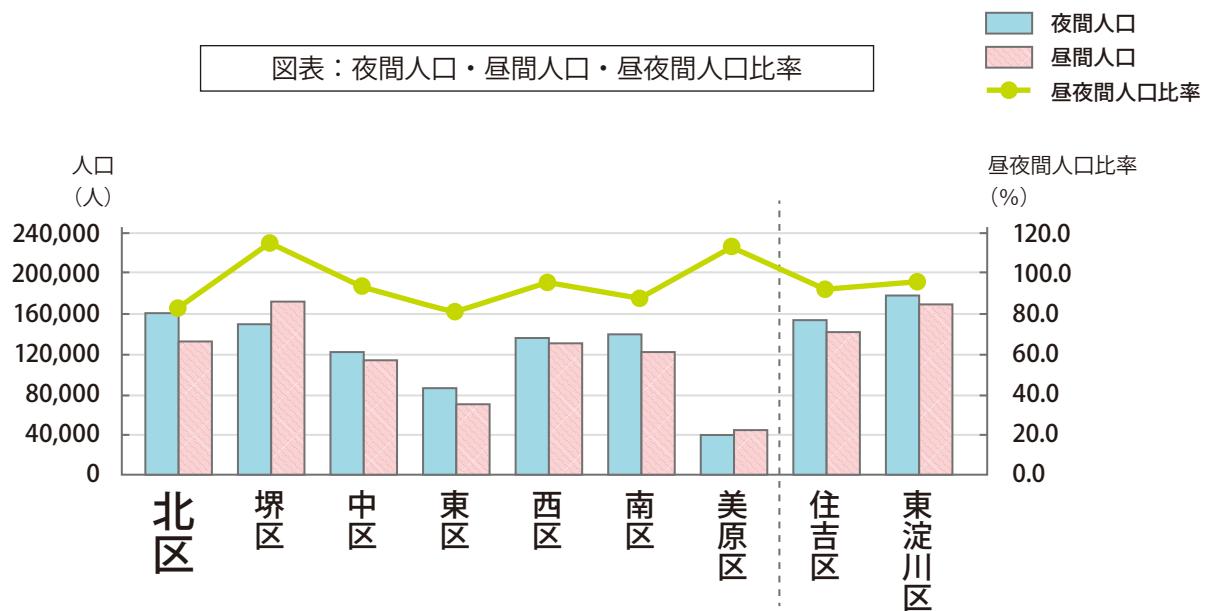
図表：15歳以上通学者・通勤者の就学先・就業先構成
(他市比較)



(出典：総務省 令和2年国勢調査)

○北区の夜間人口は159,757人。通勤・通学などによる流出超過となつたため、昼間人口は131,382人で昼夜間人口比率は82.2%である。

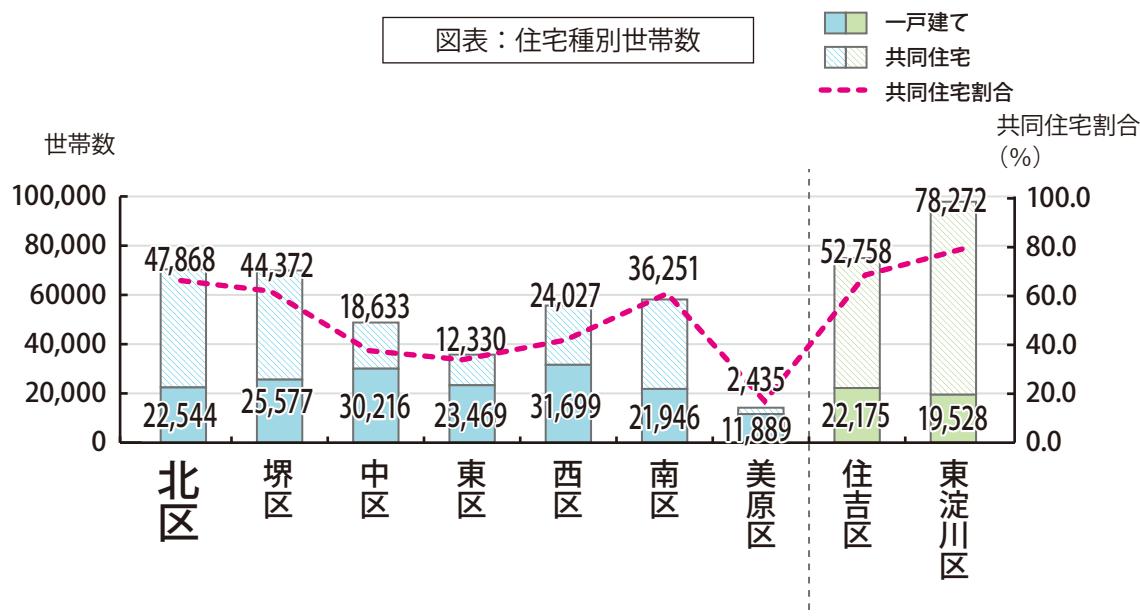
○北区の昼夜間人口比率は堺市7区中2番目に低い。



(出典：総務省 令和2年国勢調査)

○北区の住宅に住む一般世帯70,412世帯中、47,868世帯が共同住宅に住んでおり、全体の68.0%を占める。

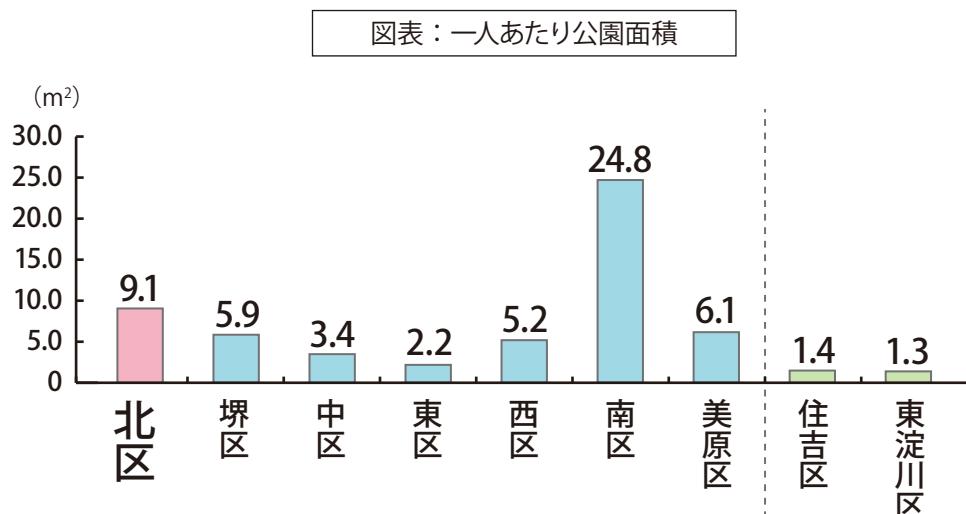
○堺市7区の中で北区は共同住宅に居住している割合が最も高く、住吉区(70.4%)とほぼ同程度である。



(出典：総務省 令和2年国勢調査)

○北区の一人当たり公園面積は9.1m²で、堺市7区の中で南区に次いで2番目に広い。

○北区の一人当たり公園面積は住吉区(1.4m²)や東淀川区(1.3m²)に比べて広い。



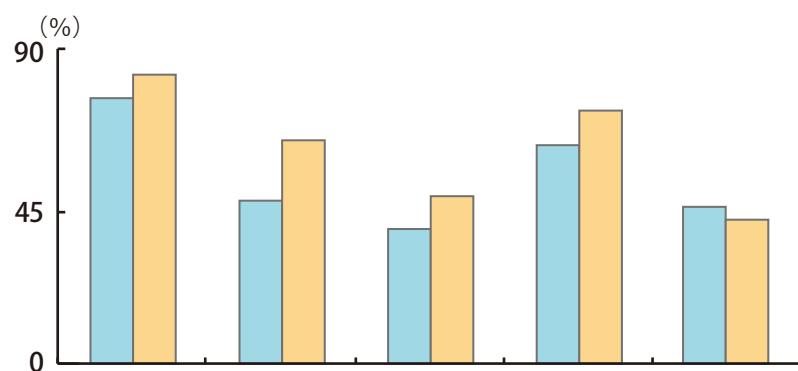
(出典：令和5年度堺市統計書、大阪府統計書、大阪市域内都市公園行政区別総括表)

○北区は「これからも住み続けたい」の割合が堺市7区中最も高い。「歴史資源や文化資源を身近に感じる」「自転車の利用環境に満足している」が2位、「まちの緑の豊かさに満足している」「まちなみの美しさに満足している」も3位である。

図表：堺市居住区別居住環境意識

2019年度 北区
2024年度 北区

	総合評価	環境・美化	歴史・文化	交通
2019年度 北区順位	1	2	3	1
2024年度 北区順位	1	3	3	2



		これからも堺市に住み続けたいと思う	まちの緑の豊かさに満足している	まちなみの美しさに満足している	歴史資源や文化資源を感じる	自転車の利用環境に満足している
2019年	北区	78.6	48.5	35.7	66.9	45.8
2024年	北区	85.5	66.2	49.8	74.7	42.7
	堺区	84.7	52.2	51.4	78.9	48.8
	中区	85.5	55.2	45.8	73.5	41.9
	東区	83.2	52.6	38.8	66.7	36.4
	西区	82.5	44.3	39.8	71.0	36.6
	南区	84.4	92.6	57.4	66.6	41.5
	美原区	82.0	69.0	45.0	70.7	35.3

単位：%

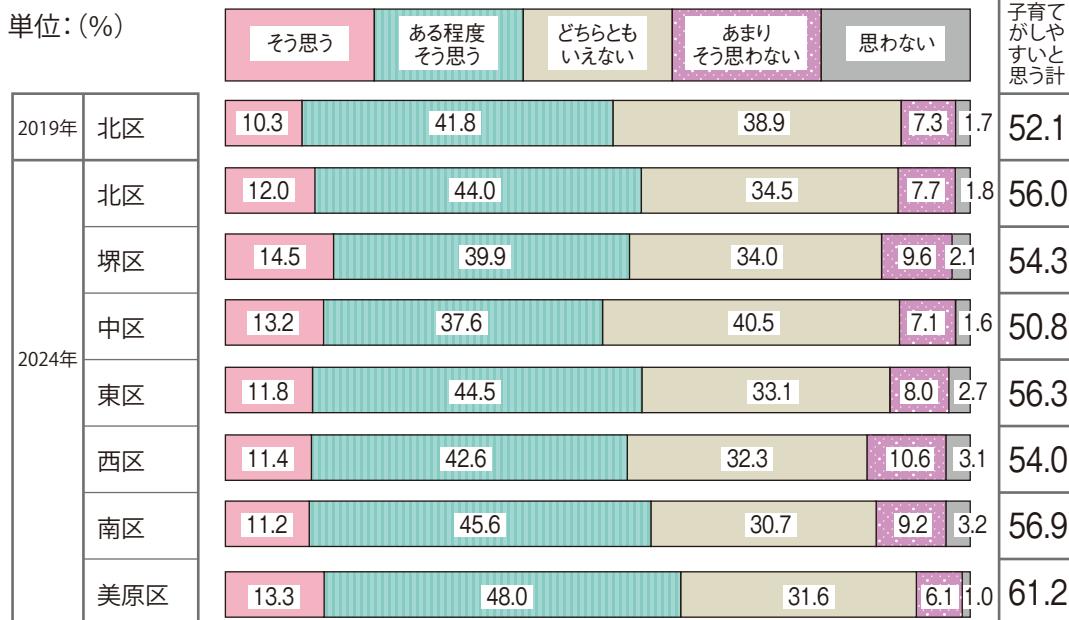
※「そう思う」+「ある程度そう思う」計の値を採用

(出典：令和6年度堺市市民意識調査)

○堺市7区の中で北区は4位だが、2位・3位との差は1ポイント未満とわずかである。

また、令和元（2019）年度と比べると52.1%から56.0%へと3.9ポイント上昇している。

図表：堺市居住区別「子育てがしやすい都市」と思う割合

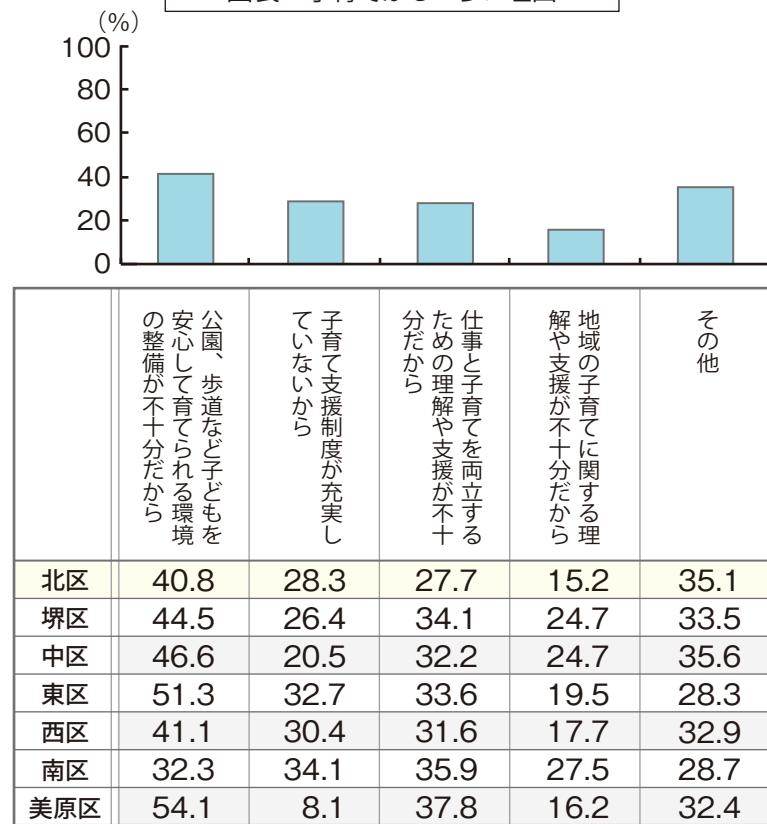


（出典：令和6年度堺市市民意識調査）

○北区で子育てがしづらい理由

は「公園、歩道など安心して育てられる環境の整備が不十分だから」が最も高く、「子育て支援制度が充実していないから」、「仕事と子育てを両立するための理解や支援が不十分だから」が続いている。

図表：子育てがしづらい理由



単位：%

（出典：令和6年度堺市市民意識調査）

○北区は健康意識のいずれの項目も堺市7区中下位である。

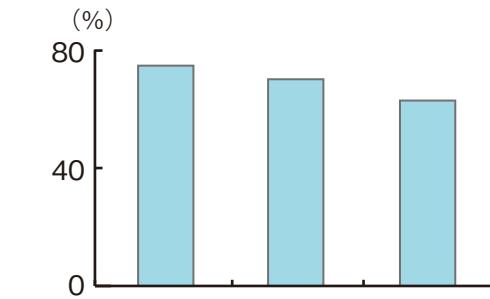
図表：堺市居住区別健康意識

2024年度 北区順位

7

6

7



	自分自身の健康状態をチェックしている	特定健康診査を受診している (40歳～74歳)	かかりつけの医師がいる
北区	74.9	70.3	63.1
堺区	78.2	71.9	66.5
中区	75.0	73.0	67.1
東区	75.4	73.7	64.8
西区	75.5	70.5	66.9
南区	78.6	76.6	66.7
美原区	79.0	66.1	65.7

単位：%

(出典：令和6年度堺市市民意識調査)

○北区の全刑法犯認知件数は令和3(2021)年の935件から増加傾向であり、令和6(2024)年には1,252件であった。

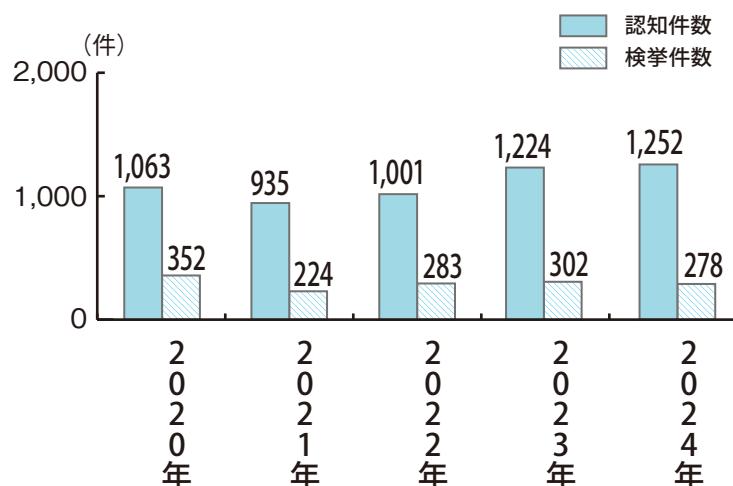
○北区の犯罪検挙件数は令和2(2020)年の352件から減少し、令和6(2024)年には278件であった。

○令和6(2024)年中の北区の全刑法犯認知件数は堺区に次いで2番目に多い。

○北区の全刑法犯認知件数、検挙件数ともに住吉区、東淀川区に比べると少なくなっている。

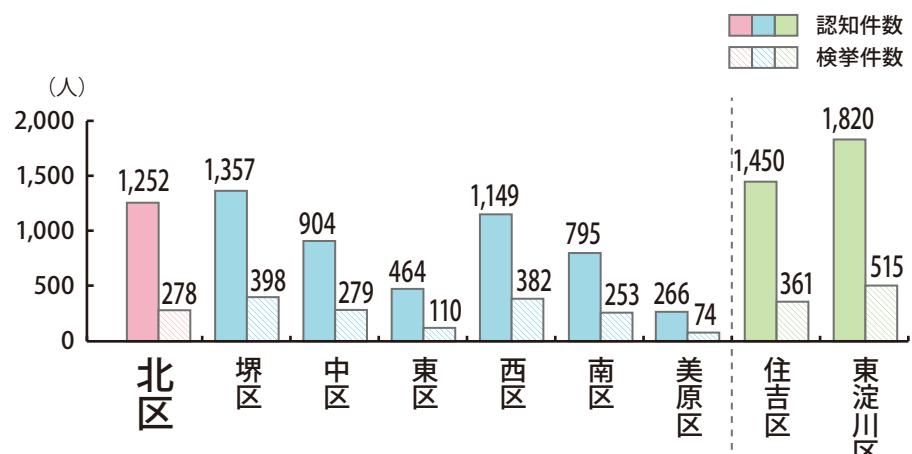
○北区の特殊詐欺認知件数は令和6(2024)年は41件で、堺市7区中5番目だが、前年からの増加件数でみると中区に次いで2番目に多い。

図表：認知・検挙件数推移



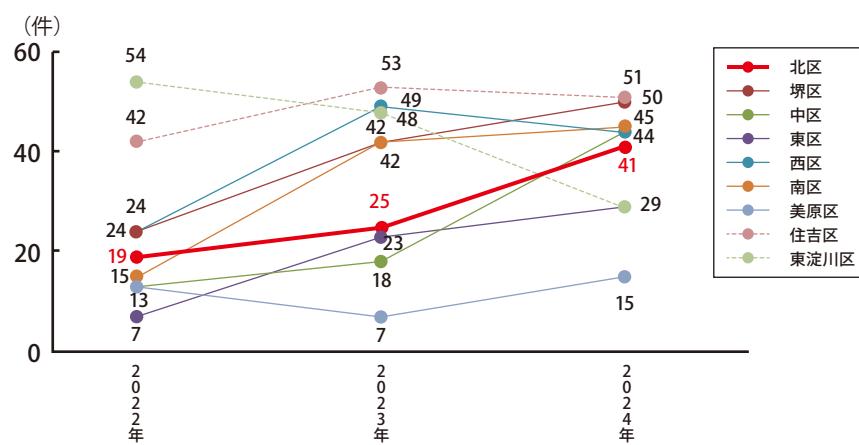
(出典：大阪府警察 犯罪統計)

図表：認知・検挙件数（他区比較）



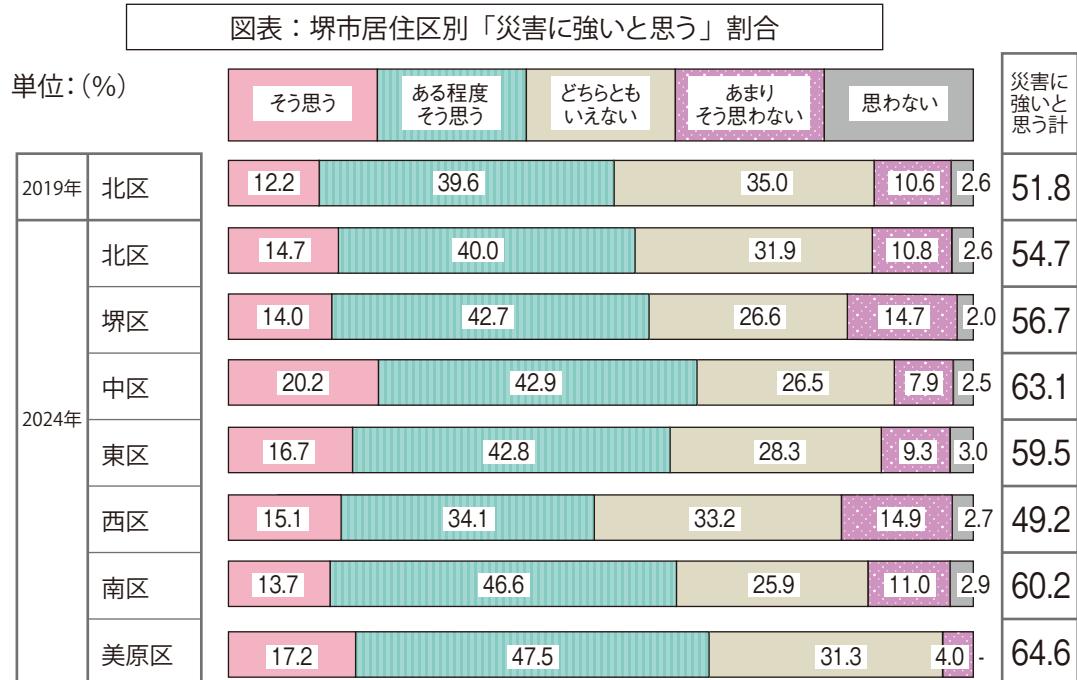
(出典：大阪府警察 令和6年中の犯罪統計)

図表：特殊詐欺認知件数推移



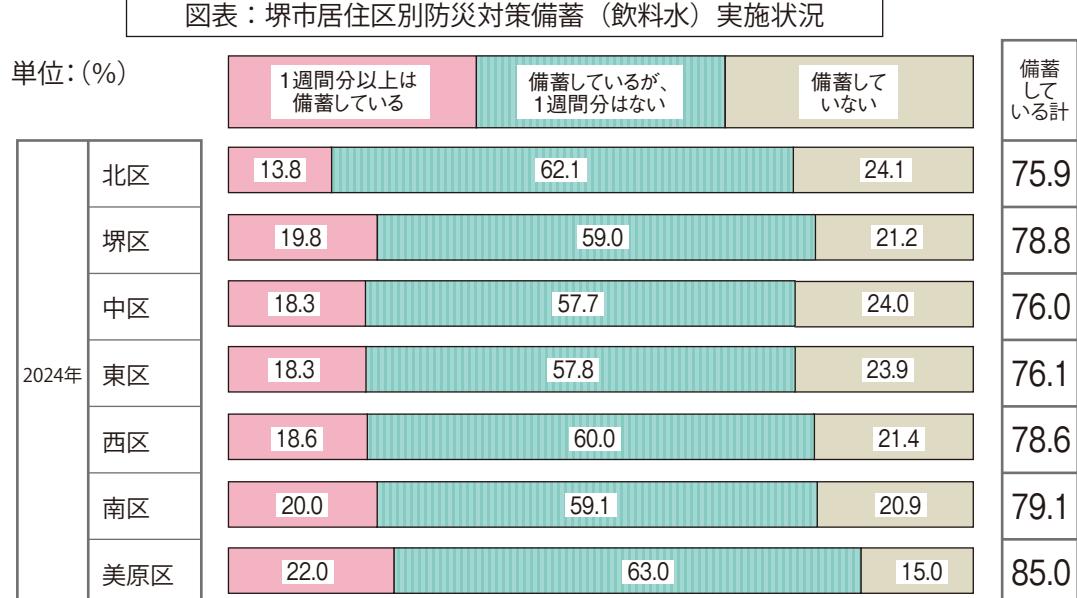
(出典：大阪府警察 市町村・行政区別 特殊詐欺発生状況)

○北区を「災害に強いと思う」割合は54.7%、令和元（2019）年度から上昇しているものの、堺市7区中6位である。



（出典：令和6年度堺市市民意識調査）

○災害に備えた飲料水の備蓄の実施割合は75.9%であるものの、1週間分以上の備蓄実施割合は13.8%である。



（出典：令和6年度堺市市民意識調査）

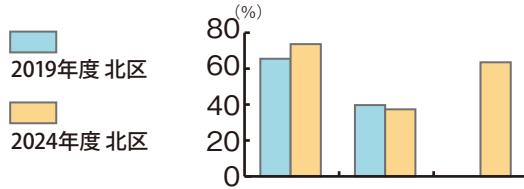
○北区は、「堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思う」割合は堺市7区中1位である。「堺市産の食材を選んで食べている」割合も堺市7区中3位である。一方、「海外の人たちに紹介したくなる魅力がある」割合は堺市7区中7位である。

※1「そう思う」+「ある程度そう思う」計の値を採用
※2「おおむね毎週」+「月に数回」+「時々」食べている計の値を採用

図表：堺市居住区別地域への愛着・魅力に対する意識

2019年度 北区順位
2024年度 北区順位

2	2	-
1	7	3



		(※1) 感じる都市だと思う	(※1) 堺市は魅力や愛着を感じる魅力があると思う	(※2) 堺市には海外の人たちに紹介したくなる魅力があると思う	(※2) 堺市内で選んで食べていますか
2019年	北区	61.3	40.8	-	
2024年	北区	73.8	37.3	63.3	
	堺区	73.8	48.1	52.8	
	中区	70.3	42.3	65.4	
	東区	69.1	37.7	62.0	
	西区	70.3	40.5	50.4	
	南区	72.3	42.6	65.8	
	美原区	68.0	43.4	60.2	

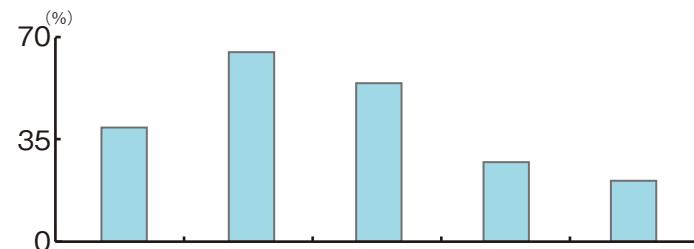
単位: %

(出典：令和6年度堺市市民意識調査)

図表：堺市居住区別地域社会とのつながりに対する意識

2024年度 北区順位

7	5	4	3	3
---	---	---	---	---



		(※1) お住まいの地域は近所づきあいが良いと思う	(※1) がれつ活健康について、お介護など相談に乗りうるところに生じる				
北区	39.1	65.0	54.2	27.0	20.8		
堺区	49.2	66.3	58.8	19.3	19.3		
中区	53.7	70.4	57.5	27.6	16.6		
東区	54.3	62.9	50.2	22.3	25.3		
西区	46.9	68.9	52.9	21.3	17.8		
南区	44.7	62.5	50.9	25.9	17.5		
美原区	56.6	79.8	56.6	36.4	24.2		

単位: %

※1「そう思う」+「ある程度そう思う」計の値を採用

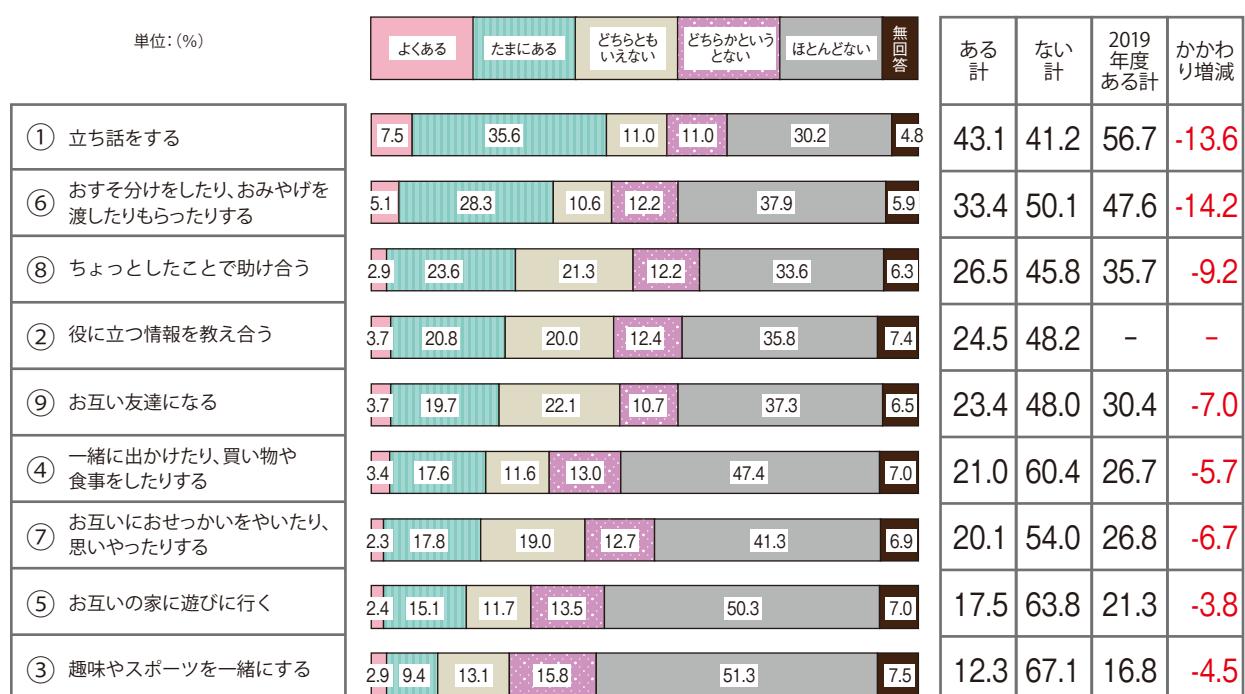
※2「おおむね毎週取り組んでいる」+「月に数回取り組んでいる」計の値を採用

(出典：令和6年度堺市市民意識調査)

○北区の住民同士のかかわりあいの有無をみると、「①立ち話をする」が43.1%、「⑥おすそ分けをしたり、おみやげを渡したりもらったりする」が33.4%、「⑧ちょっとしたことで助け合う」(26.5%)以下の項目は30%未満である。

○令和元(2019)年度と比べると、いずれの項目も低下しており、特に「⑥おすそ分けをしたり、おみやげを渡したりもらったりする」、「①立ち話をする」は10ポイント以上低下している。

図表：堺市北区の住民同士のかかわりあい



※1「-」は2019年度に未聴取の項目

(出典：堺市 令和6年度北区民意識調査)

図表：地域活動への参加状況

単位: (%)	参加している	参加していない	無回答
2019年度	1753	21.9	74.7
2024年度	1532	23.0	75.5

○地域活動の参加状況は、「参加している」割合が23.0%、「参加していない」割合が75.5%である。未就学児がいる世帯では、令和元（2019）年度から10ポイント以上低下している。

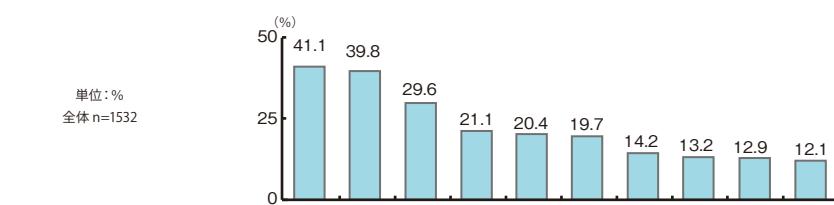
		サンプル数	参加している	参加していない	無回答	2019年度
全 体						2024年度
性別×年代別	男性	557	21.5	77.4	1.1	21.9
	20歳代以下	61	16.4	83.6	-	20.7
	30歳代	72	8.3	91.7	-	12.3
	40歳代	101	21.8	77.2	1.0	16.4
	50歳代	130	18.5	80.8	0.8	17.0
	60歳代	80	26.3	73.8	-	18.8
	70歳代以上	112	32.1	64.3	3.6	24.7
	女性	853	23.0	75.4	1.6	1.6
	20歳代以下	110	9.1	90.0	0.9	26.5
	30歳代	135	13.3	85.9	0.7	22.7
	40歳代	153	24.2	74.5	1.3	10.4
	50歳代	148	23.6	75.0	1.4	-1.3
	60歳代	114	27.2	72.8	-	25.5
	70歳代以上	193	33.7	62.2	4.1	-12.2
未就学児の有無別	いる	133	19.5	80.5	-	0.1
	いない	434	29.8	72.0	0.2	3.6
						11.3
						-10.7
						30.2
						26.3

(出典: 堺市 令和6年度北区民意意識調査)

○地域活動に参加したくなる条件は「忙しくなく、時間があれば」、「興味関心のある活動があれば」、「雰囲気・居心地がよければ」が上位である。

○性別×年代別でみると、20歳代以下女性では「友達や知り合い、同僚などから誘いがあれば」、「地域活動への参加のきっかけがあれば」、「同年代が多ければ」が全体より10ポイント以上高い。未就学児がいる世帯は、「忙しくなく、時間があれば」、「地域活動の曜日や時間が参加しやすければ」が全体より高い。

図表：地域活動に参加したくなる条件（上位抜粋）



		サンプル数	忙しくなく、時間があれば	興味関心のある活動	霧田気は	が参加しやすければ	地域活動への参加のきっかけ	友達や知り合い、同僚などから説かなければ	同年代が多ければ	地域や仲間とつながることでできたら	自分や家族が関係している活動が多ければ	困っている人を支援することができる
全 体		1532	41.4	39.8	29.6	21.1	20.4	19.7	14.2	13.2	12.9	12.1
性別×年代別	男性	557	42.5	34.6	27.3	20.1	19.0	15.6	12.6	13.6	14.4	12.0
	20歳代以下	61	57.4	36.1	29.5	16.4	23.0	29.5	23.0	13.1	8.2	8.2
	30歳代	72	43.1	38.9	37.5	25.0	15.3	18.1	16.7	9.7	13.9	13.9
	女性	853	41.1	43.0	30.9	22.2	21.0	23.1	15.5	12.9	12.3	11.7
未就学児の有無別	20歳代以下	110	50.0	49.1	34.5	24.5	31.8	34.5	24.5	9.1	12.7	13.6
	30歳代	135	57.0	45.2	33.3	21.5	18.5	24.4	14.8	11.9	17.0	6.7
いる		133	59.4	33.1	36.8	32.3	21.8	21.1	16.5	15.8	18.8	8.3
いない		434	45.4	41.2	31.8	24.7	21.0	22.6	15.9	11.8	15.7	12.4

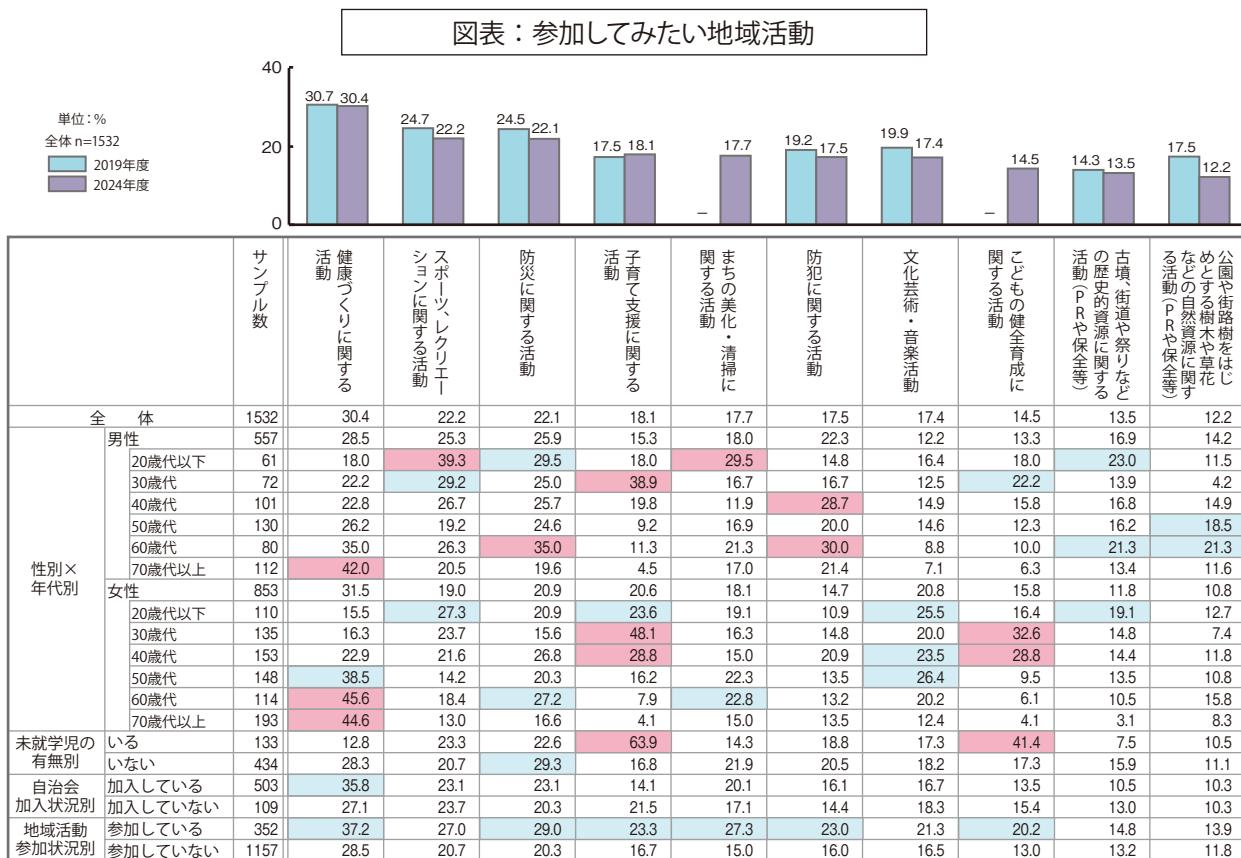
※ は全体より10ポイント以上、 は全体より5ポイント以上高い

(上位10項目) 単位: %

(出典: 堺市 令和6年度北区民意識調査)

○ 参加してみたい地域活動は、「健康づくりに関する活動」、「スポーツ、レクリエーションに関する活動」、「防災に関する活動」割合が20~30%程度で上位。

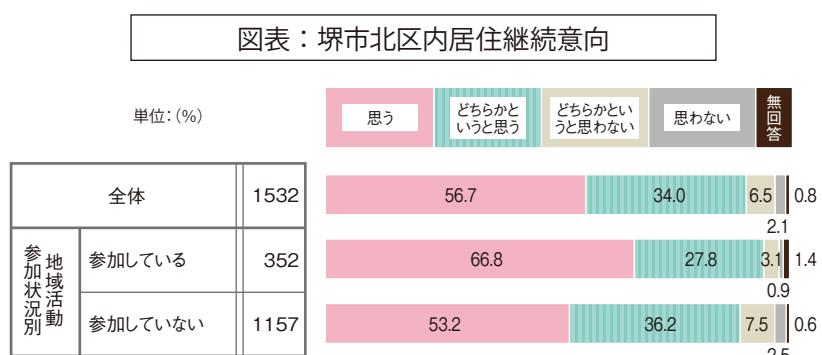
○ 「健康づくりに関する活動」は年代が高くなるほどニーズが高くなる傾向があり、男性70歳代以上、女性は60歳代以上で40%以上である。「スポーツ、レクリエーションに関する活動」は男性、「子育て支援に関する活動」、「子どもの健全育成に関する活動」は30歳代男女や未就学児がいる世帯でそれぞれ上位である。



(出典：堺市 令和6年度北区民意識調査)

○ 北区内の居住意向は「(住み続けたいと)思う」が56.7%で、「どちらかというと思う」(34.0%)を含めると90.7%である。

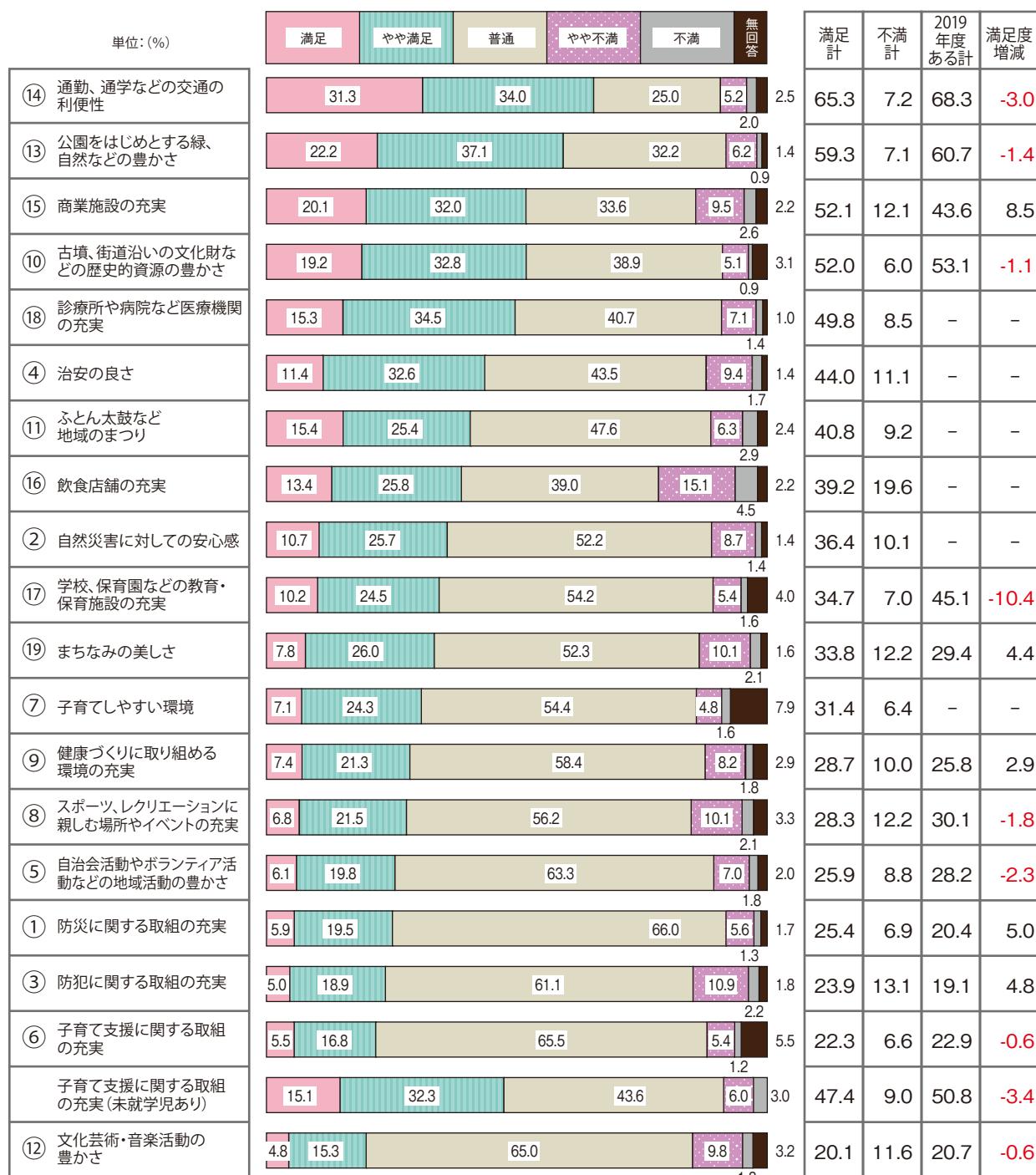
○ 地域活動に参加している層の「(住み続けたいと)思う」割合は66.8%で、参加していない層の割合(53.2%)を上回っている。



(出典：堺市 令和6年度北区民意識調査)

- 北区の「⑯交通の利便性」や「⑯緑、自然などの豊かさ」、「⑯商業施設の充実」、「⑯文化財などの歴史的資源の豊かさ」について、区民の50%以上が満足している。
- 一方、「⑯文化芸術・音楽活動の豊かさ」「⑯子育て支援に関する取組の充実」「⑯防犯に関する取組の充実」は満足度が25%未満である。
- 未就学児のいる世帯では、子育て支援に関する取組の充実の満足度は47.4%である。

図表：堺市北区の各項目別満足度



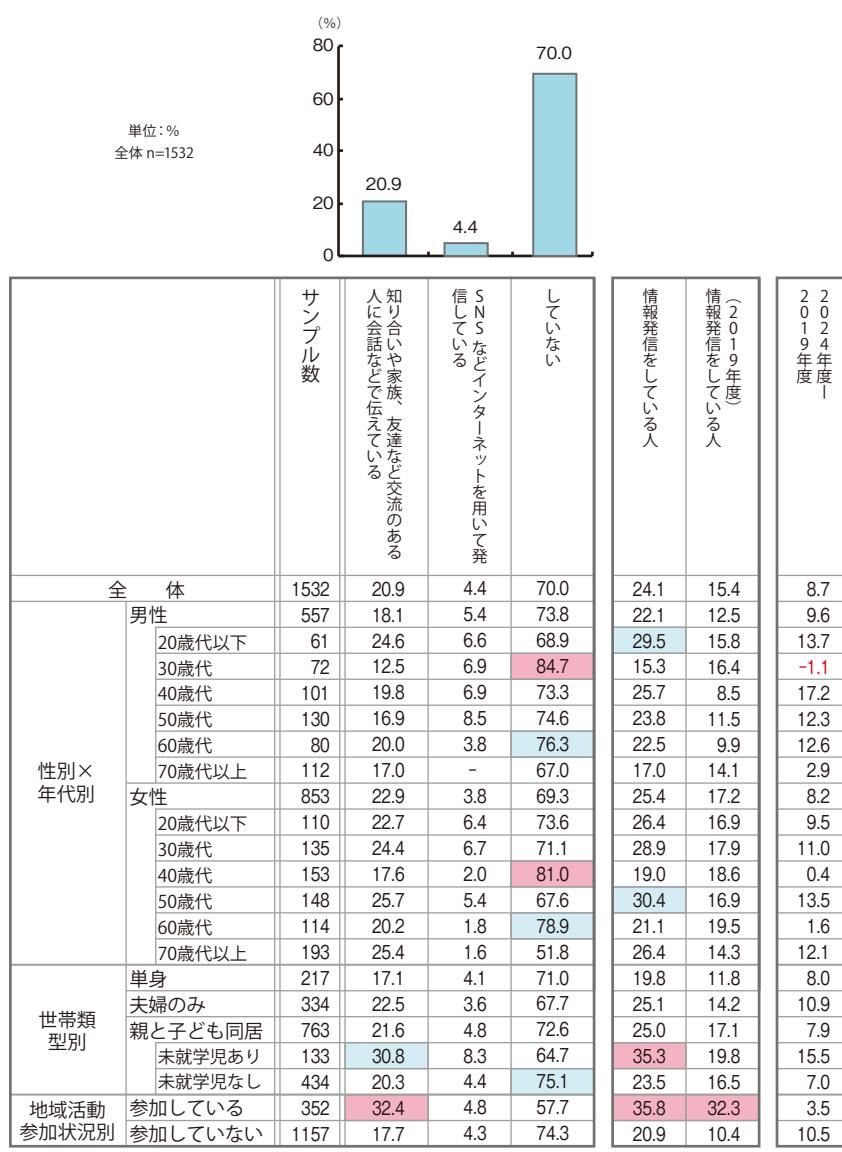
※「-」は2019年度に未聴取の項目

(出典：堺市 令和6年度北区民意識調査)

○北区民における北区の魅力情報発信状況をみると、「知り合いや家族、友達など交流のある人に会話などで伝えている」が20.9%、「SNSなどインターネットを用いて発信している」が4.4%で、いずれかでも「情報発信をしている人」は24.1%と3割に満たないものの、令和元(2019)年度と比べると情報発信者は8.7ポイント増加している。

○属性別でみると、地域活動をしている層、未就学児がいる層、女性50代は30%以上が情報発信をしている。また、情報発信率は男性より女性の方が高いものの、令和元(2019)年度と比べると男性の方が情報発信者の増加率が高い。一方で、男性30代、女性40代においては情報発信率は低めである。

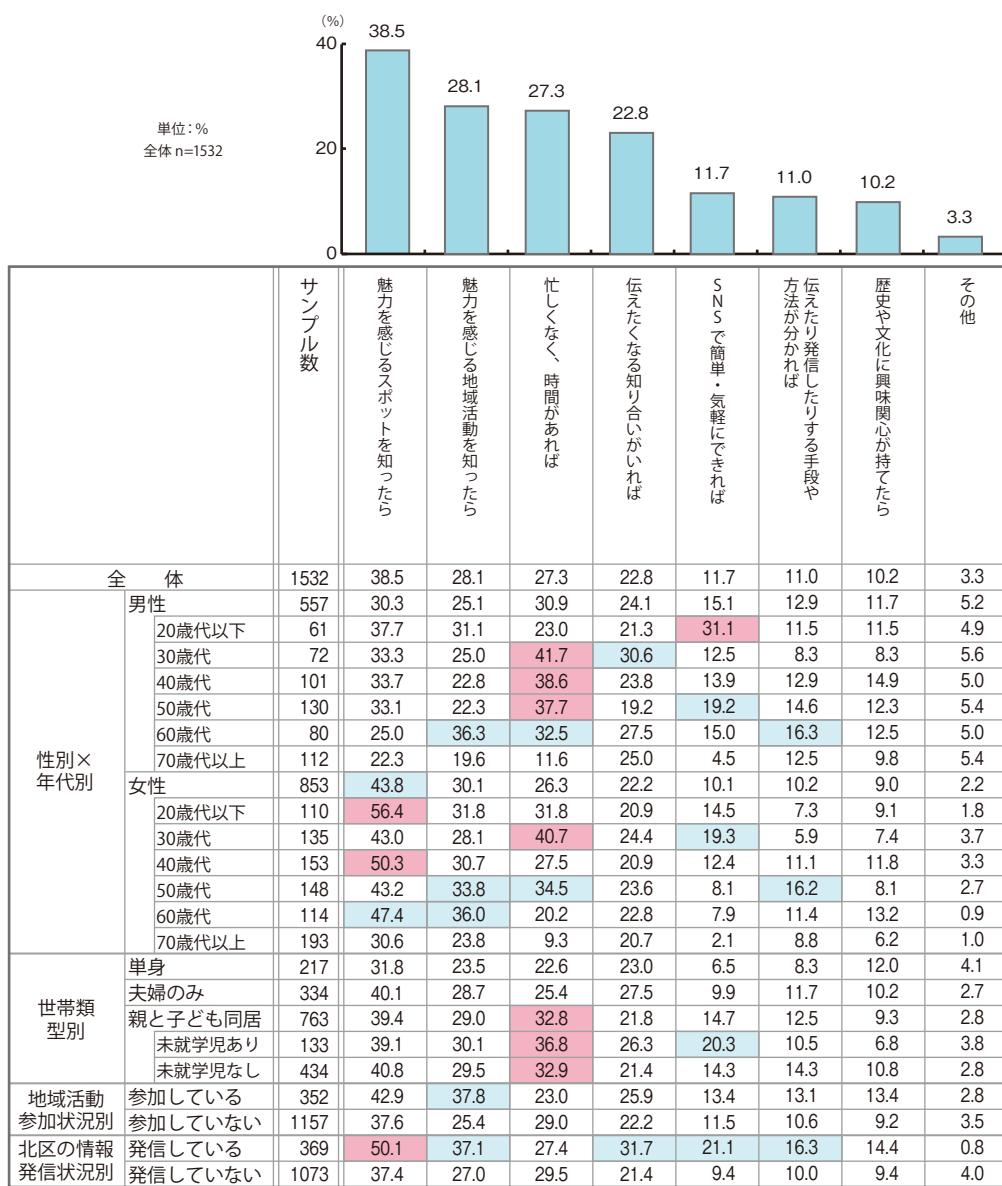
図表：堺市北区民における北区の魅力情報発信状況



○北区民が魅力情報を発信したくなる条件は、「魅力を感じるスポットを知つたら」が38.5%、「魅力を感じる地域活動を知つたら」が28.1%、「忙しくなく、時間があれば」が27.3%である。

○属性別でみると、30～50代の男性、30代の女性は「忙しくなく、時間があれば」が40%前後、20代以下男性は「SNSで簡単・気軽にできれば」が30%以上である。情報発信率が比較的低めであった40代女性は「魅力を感じるスポットを知つたら」が50.3%である。

図表：堺市北区民が魅力情報を発信したくなる条件



※ ■は全体より10ポイント以上、■は全体より5ポイント以上高い

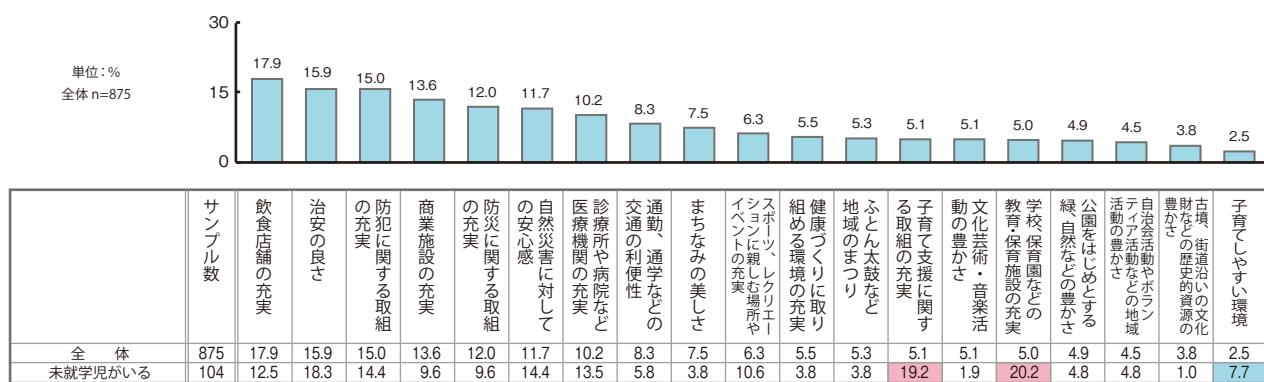
単位：%

(出典：堺市 令和6年度北区民意識調査)

○北区内で課題に感じていることは「飲食店舗の充実」(17.9%)、「治安の良さ」(15.9%)、「防犯に関する取組の充実」(15.0%)、「商業施設の充実」(13.6%)、「防災に関する取組の充実」(12.0%)が上位である。

○未就学児がいる世帯では「教育・保育施設の充実」(20.2%)、「子育て支援に関する取組の充実」(19.2%)、「治安の良さ」(18.3%)が上位である。

図表：堺市北区で日常感じている課題



※ 粉色は全体より10ポイント以上、青色は全体より5ポイント以上高い

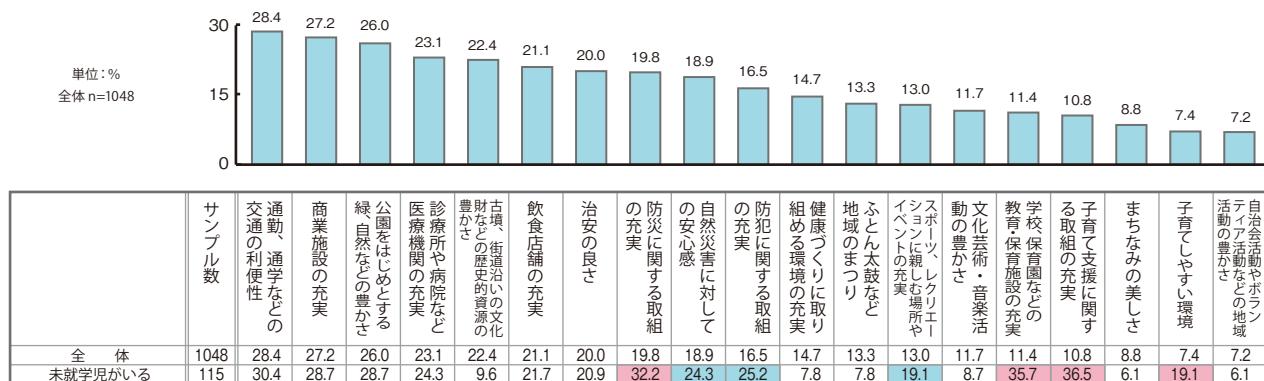
※ 「無回答」を除いて集計

(出典：堺市 令和6年度北区民意識調査)

○情報を求められている北区の魅力は、「交通の利便性」(28.4%)、「商業施設の充実」(27.2%)、「緑、自然などの豊かさ」(26.0%)、「医療機関の充実」(23.1%)、「歴史的資源の豊かさ」(22.4%)が上位である。

○未就学児がいる世帯では、「子育て支援に関する取組の充実」(36.5%)、「教育・保育施設の充実」(35.7%)、「防災に関する取組の充実」(32.2%)、「交通の利便性」(30.4%)が30%以上で上位である。

図表：情報を知りたい北区の魅力



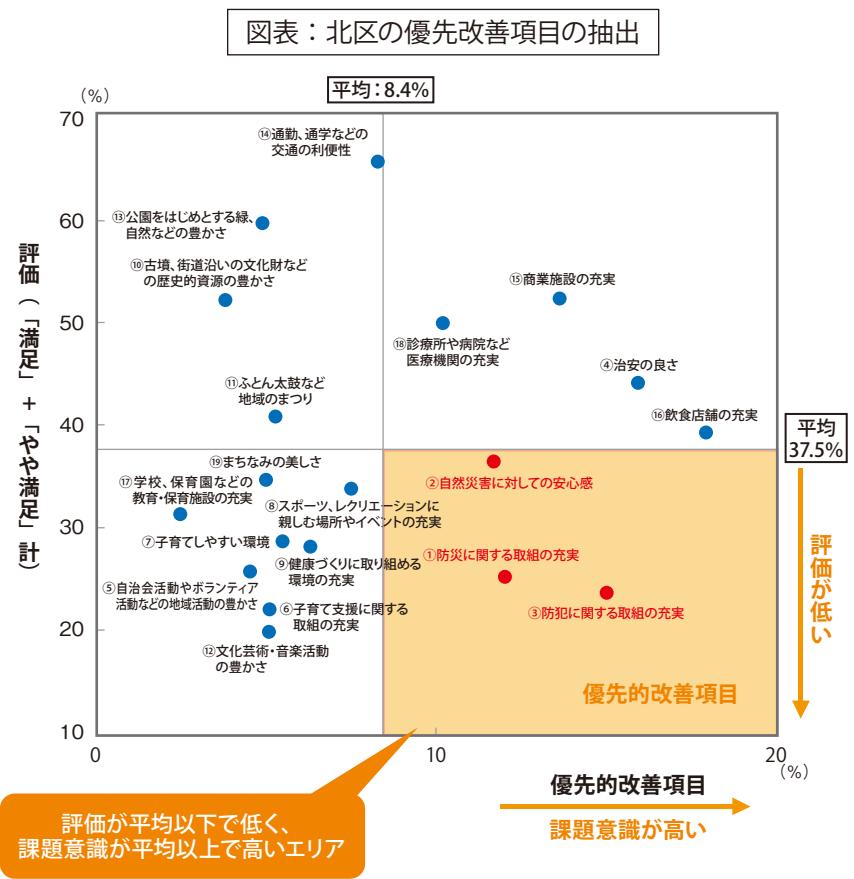
※ 粉色は全体より10ポイント以上、青色は全体より5ポイント以上高い

※ 「無回答」を除いて集計

(出典：堺市 令和6年度北区民意識調査)

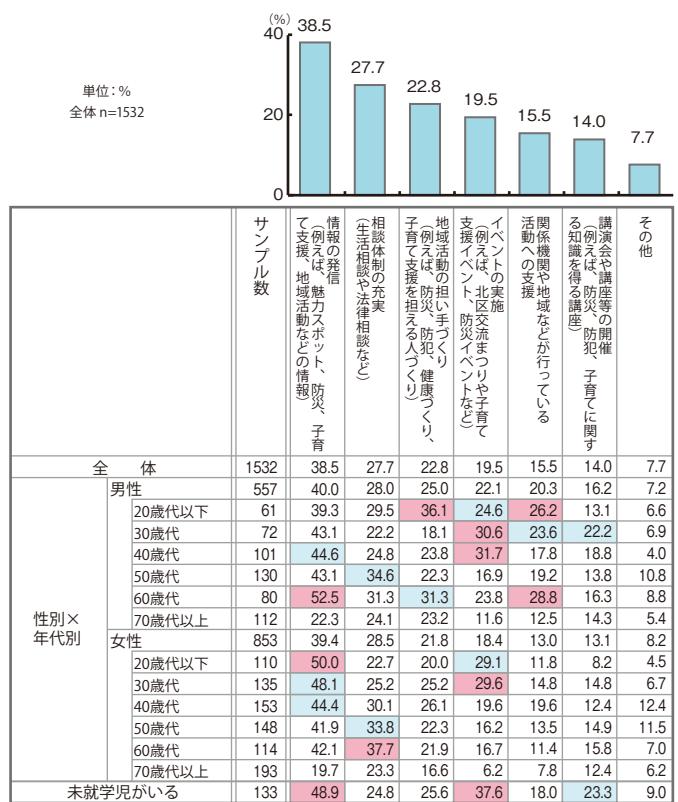
○北区への満足度（「満足」+「やや満足」の値）と北区で課題と感じる項目の関係から、優先的に改善することが効果的と考えられる項目を抽出した。

○満足度が平均以下にも関わらず、課題意識が平均以上の項目は「防犯に関する取組の充実」、「防災に関する取組の充実」、「自然災害に対しての安心感」である。



○北区に力を入れてほしいことは「情報の発信」(38.5%)、「相談体制の充実」(27.7%)、「地域活動の担い手づくり」(22.8%)が上位である。未就学児がいる層は「情報の発信」と「イベントの実施」への要望が高い。

図表：魅力向上や課題解決に対して力を入れてほしいこと



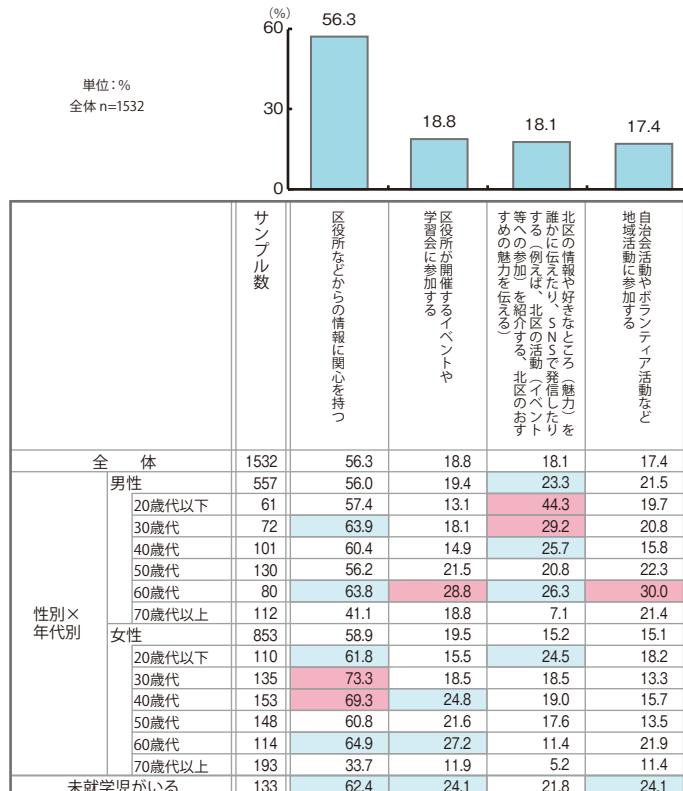
（出典：堺市 令和6年度北区民意識調査）

○北区の魅力向上や課題解決に対して、区民自身でできることは「区役所などからの情報に関心を持つ」が56.3%で最も高い。

「区役所が開催するイベントや学習会に参加する」、「北区の情報や好きなところ（魅力）を誰かに伝えたり、SNSで発信したりする」、「自治会活動やボランティア活動など地域活動に参加する」はいずれも18%程度である。

○未就学児がいる世帯では「区役所などからの情報に関心を持つ」、「区役所が開催するイベントや学習会に参加する」、「自治会活動やボランティア活動など地域活動に参加する」が全体よりも5ポイント以上高い。

図表：魅力向上や課題解決に対して自身でできること



※ ■ は全体より10ポイント以上、 ■ は全体より5ポイント以上高い

単位: %

(出典：堺市 令和6年度北区民意識調査)

北区「はっぴー・すまいる」ビジョン

編集・発行：堺市北区役所 企画総務課

堺市北区新金岡町5丁1番4号

TEL: (072) 258-6706 FAX: (072) 258-6817

HP:

発行年月 令和8(2026)年月

堺市配架資料番号

